

添付資料

目 次

添付資料－1 高浜発電所 第4号機 保全計画（第2・3保全サイクル）

添付資料－1 高浜発電所 第4号機 保全計画（第23保全サイクル）

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等に関して、「高浜発電所 第4号機 保全計画（第23保全サイクル）」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

高浜発電所 第4号機
保 全 計 画
(第23保全サイクル)

施設管理の実施に関する計画

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第23回定期事業者検査開始日から次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列する日の前日までの期間（第23回定期事業者検査終了以降13ヶ月までの間※）とし、以降、この期間を第23保全サイクルという。

ただし、この期間内に次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列した場合には、その前日までの期間とする。

※：この間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

(1) 工事の計画

a. 蒸気発生器伝熱管補修工事：設計及び工事の計画の届出

（蒸気発生器伝熱管に有意な信号指示が認められた場合に工事計画届出予定）

○ 工事概要

蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査の結果、有意な信号指示が認められた場合に、蒸気発生器の健全性を確保するため、メカニカルプラグにて施栓を行う。

○ 予定時期

第23回定期事業者検査期間中

b. 特定重大事故等対処施設設置工事：認可

○ 工事概要

平成24年6月の核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正並びに関連規則等の改正を踏まえ、原子炉補助建屋等への故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる重大事故等に対処するために必要な施設の整備を行う。

○ 予定時期

第23回定期事業者検査期間中（完了予定：西暦2020年12月）

c. 高エネルギーアーク損傷対策工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

高エネルギーアーク損傷に係る実用発電用原子炉及びその附属設備の技術基準に関する規則等の一部改正に伴い、非常用ディーゼル発電機に保護リレーの追加等を行う。

○ 予定時期

第23回定期事業者検査期間中

3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期

(1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「高浜発電所 保守業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査に伴う停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

別紙

点 検 計 画
(第 2 3 保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

② 保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・ 定期事業者検査に係る点検
- ・ 定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については、「高浜発電所 保守業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフ
イス、レデューサ、フローグラス 等

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達(平成18原品証通達第2号)」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全(時間基準保全、状態基準保全)を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間(総合負荷性能検査～解列)に対応した値を示している。
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
 - ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
 - ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※2と表記している。なお、回転機器(ポンプ、ファン等)等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
 - ・ これ以外で、性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
 - ・ このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
 - ・ 定期的な頻度をもたずに実施する点検については、「X」により表記している。
- ※2：「B」「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備を備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

なお、第2 3 保全サイクル中に点検を実施するものについては「点検計画」に「○」^{※3}を記載している。

また「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）^{※4}も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあつては、最新実績を記載している。

目 次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/28
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/28
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	3/28
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[蒸気タービンの附属設備]	
[原子炉補機冷却水設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
計測制御系統施設	11/28
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[ほう素再生設備]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	14/28
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
放射線管理施設	16/28
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
原子炉格納施設	20/28
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	23/28
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	23/28
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
蒸気タービン	23/28
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	27/28
[浸水防護施設]	
[常用電源設備]	
[火災防護施設]	
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
土木建築設備	28/28
プラント総合	28/28

- 別表-1：クラス1 機器供用期間中検査10年計画
 別表-2：クラス2 機器供用期間中検査10年計画
 別表-3：クラス3 機器供用期間中検査10年計画
 別表-4：クラス1 機器Ni 基金金使用部位特別検査10年計画
 別表-5：クラス2 管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画
 別表-6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画
 別表-7：重大事故等クラス2 機器供用期間中検査10年計画
 別表-8：重大事故等クラス3 機器供用期間中検査10年計画

1. 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉本体 【炉心】	照射済燃料集合体	1. 外観点検	高	1F	○	22回	燃料集合体外観検査	※：炉心設計による	
	照射済燃料集合体(取出燃料)	1. 外観点検	高	1F	○	22回	燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による	
	燃料集合体	1. 外観点検(炉内配置)	高	1F	○	22回	燃料集合体炉内配置検査		
	内挿物 (1) 制御棒クラススタ (2) バーナブルボイスン (3) プラキングデバイス (4) 2次中性子源	※ 1式	1. 外観点検(炉内配置)	高	1F	○	22回	燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による
原子炉本体 【原子炉容器】 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取扱設備】	原子炉本体のうち炉心	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	定期事業者検査起動後	
	原子炉容器	1. 開放点検	高	13M	○	22回	構造健全性検査		
	制御棒クラススタ案内管支持ピン	1. 外観点検	高	3F	—	21回	燃料取扱装置機能検査	一部先行実施	
	燃料移送装置	1. 機能・性能試験(リフティングフレーム) 1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査(動作・インターロック試験等)		
	燃料取扱クレーン		2. 分解点検他	高	39M~195M	○	22回	燃料取扱装置機能検査	
			1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査(動作・インターロック試験等)	
	使用済燃料ピットクレーン	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	高	39M~195M	○	22回	燃料取扱装置機能検査 1次系換気空調設備検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	
	新燃料エレベータ		2. 分解点検	高	39M~195M	—	21回	燃料取扱装置機能検査(動作・インターロック試験等)	先行実施
			1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査(動作・インターロック試験等)	
	燃料取扱建屋クレーン		2. 分解点検他	高	39M~195M	—	21回	燃料取扱装置機能検査(動作・インターロック試験等)	先行実施
1. 機能・性能試験			高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査(動作・インターロック試験等)		
燃料取扱工具	1式	2. 簡易点検(年次点検)	高	12M	○	22回	燃料取扱装置機能検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中	
		1. 外観点検	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	
燃料取留ラック		1. 外観点検	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査(動作・インターロック試験等)		
		1. 分解点検他	高・低	13M	○	22回	燃料取扱装置機能検査	先行実施	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【燃1式】 料取扱設備】その他機器	1. 特性試験	高	13M	○	22回	プラント状態監視設備機能検査	20回施設定検時に設置	
		2. 簡易点検	高	13M	○	22回	計測制御系監視機能検査	一部20回施設定検時に設置	
	1次系計測制御装置	1式	1. 特性試験	高	13M	○	22回	可搬型重大事故等対応設備機能検査	20回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ装置	1式	1. 機能・性能試験	高	13M	○	22回	20回施設定検より追加	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【使用済燃料貯蔵設備】その他機器	1式	1. 特性試験他	高	13M	○	22回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	可搬式代替店庄水ポンプ・電動機	2台	高	1Y 130M	○	22回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 20回施設定期検査に設置
	消防ポンプ	72台	高	78M	—	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 20回施設定期検査より追加
	使用済燃料ピット浄化冷却設備		低	1F	○	22回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	先行実施 (振動診断：3M)
	A使用済燃料ピットポンプ・電動機		低	78M	—	20回		
	B使用済燃料ピットポンプ・電動機		低	CBM	—	11回		
				13M	○	22回		
				78M	—	21回		
				CBM	—	12回		
				13M	○	22回		
	A使用済燃料ピットフイルタ		低	130M	—	20回		
	B使用済燃料ピットフイルタ		低	195M	—	19回		
	A使用済燃料ピット冷却器		低	195M	—	20回		
	B使用済燃料ピット冷却器		低	195M	—	20回		
C使用済燃料ピット冷却器		低	130M	○	—		13回施設定期検査に設置	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他の弁	1式	高・低	B 130M	—	20回	1次系弁検査	先行実施
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他の弁駆動部	1式	高・低	B 65M	—	21回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	一部先行実施
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他機器	1式	高	104M～130M	○	22回		一部先行実施
	A燃料取替用水ポンプ・電動機		低	13M～130M	○	22回		一部BMあり 一部先行実施
			高	B※ 130M	—	20回		先行実施 (振動診断：3M)
			高	104M	—	20回		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			高	13M	○	22回		
			高	B※ 130M	—	22回		先行実施 (振動診断：3M)
			高	104M	—	20回		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			高	13M	○	22回		
			高	B 130M	—	20回		一部先行実施
			高	B 182M	—	16回		1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査
			高	65M～260M 104M～130M	○	22回		一部先行実施
		低		○	22回		一部BMあり 一部先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A. 蒸気発生器	1. 伝熱管 3, 244本	高	130	○	22回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		2. 開放点検			○	22回		
		3. 簡易点検 (スラッジランシン グ)			○	22回		
		4. 簡易点検 (ガスケット取替 他)			○	22回		
	B. 蒸気発生器	1. 伝熱管 3, 247本	高	130	○	22回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		2. 開放点検			○	22回		
		3. 簡易点検 (スラッジランシン グ)			○	22回		
		4. 簡易点検 (ガスケット取替 他)			○	22回		
	C. 蒸気発生器	1. 伝熱管 3, 256本	高	130	○	22回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		2. 開放点検			○	22回		
		3. 簡易点検 (スラッジランシン グ)			○	22回		
		4. 簡易点検 (ガスケット取替 他)			○	22回		
加圧器安全弁	4V-RC-055	高	IF	○	22回	加圧器安全弁機能検査		
	4V-RC-056			○	22回	加圧器安全弁漏えい検査		
	4V-RC-057			○	22回	加圧器安全弁分解検査		
加圧器逃がし弁	4-PCV-454C	高	IF	○	22回	加圧器逃がし弁機能検査		
				○	22回	加圧器逃がし弁漏えい検査		
加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-454C	高	260	○	21回	加圧器逃がし弁分解検査		
				○	22回			
	4-PCV-455A			○	22回	加圧器逃がし弁機能検査		
加圧器逃がし弁	4-PCV-455A	高	IF	○	22回	加圧器逃がし弁漏えい検査		
				○	22回	加圧器逃がし弁分解検査		
				○	22回	加圧器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-455A	高	260	○	22回	加圧器逃がし弁分解検査		
				○	22回			
	4-PCV-455B			○	22回	加圧器逃がし弁機能検査		
加圧器逃がし弁	4-PCV-455B	高	IF	○	22回	加圧器逃がし弁漏えい検査		
				○	22回	加圧器逃がし弁分解検査		
				○	22回	加圧器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-455B	高	260	○	22回	加圧器逃がし弁分解検査		
				○	22回			
	4-PCV-455B			○	22回	加圧器逃がし弁分解検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	加圧器逃がし弁元弁	4V-RC-054A	高	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検 3.簡易点検(ブランドパッキン取替)	高	○	22回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		4V-RC-054A	高	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検 3.簡易点検(ブランドパッキン取替)	高	○	20回		
		4V-RC-054B	高	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検 3.簡易点検(ブランドパッキン取替)	高	○	20回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
	加圧器逃がし弁元弁駆動部	4V-RC-054B	高	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検 3.簡易点検(ブランドパッキン取替)	高	○	20回		
		4V-RC-054C	高	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検 3.簡易点検(ブランドパッキン取替)	高	○	22回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		4V-RC-054C	高	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検 3.簡易点検(ブランドパッキン取替)	高	○	21回		
	加圧器逃がし弁元弁駆動部	4V-RC-054C	高	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検 3.簡易点検(ブランドパッキン取替)	高	○	21回		
		4V-RC-054C	高	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検 3.簡易点検(ブランドパッキン取替)	高	○	20回		
		4V-RC-054C	高	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検 3.簡易点検(ブランドパッキン取替)	高	○	22回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
	原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	B 1次冷却材ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高	高	○	22回	1次冷却材ポンプ機能検査	
			2.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(メカニカルシー ル)	高	高	○	14回		
			2.分解点検(メカニカルシー ル) 3.簡易点検(フライホイール)	高	高	○	19回	1次冷却材ポンプメカニカル分解検査	
		B 1次冷却材ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機) 2.分解点検(メカニカルシー ル)	高	高	○	22回	1次冷却材ポンプメカニカル分解検査	
			2.分解点検(フライホイール) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高	高	○	17回		
			2.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高	高	○	22回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
C 1次冷却材ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高	高	○	22回	1次冷却材ポンプ機能検査		
		2.分解点検(フライホイール) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高	高	○	19回			
		2.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	高	高	○	20回	1次冷却材ポンプメカニカル分解検査		
加圧器		1.開放点検 2.簡易点検(マンホールガス ケット取替)	高	高	○	22回			
		1.機能・性能試験 2.分解点検	高	高	○	20回			
		2.分解点検(フライホイール) 3.簡易点検(特許試験)	高	高	○	22回			
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環 1式 設備] その他の弁		1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検	高	高	○	22回			
		1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検	高	高	○	21回			
		1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検	高	高	○	22回			
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環 1式 設備] その他の機器	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検	高	高	○	22回				
	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検	高	高	○	22回				
	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検	高	高	○	22回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	主蒸気安全弁	1. 機能・性能試験	高	IF	○	22回	主蒸気安全弁機能検査		
		2. 漏えい試験							
		3. 分解点検							
		1. 機能・性能試験	高	B	-	22回			
		2. 漏えい試験							
		3. 分解点検							
		1. 機能・性能試験	高	26M	○	22回			
		2. 漏えい試験							
		3. 分解点検							
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	IF	○	22回	22回		主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシंक熱輸送設備作動検査
		2. 漏えい試験							
		3. 分解点検							
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	B	○	22回	22回		主蒸気逃がし弁漏えい検査
		2. 漏えい試験							
		3. 分解点検							
1. 分解点検	高	13M	○	22回	22回				
2. 簡易点検 (特許試験)									
3. 簡易点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	13M	○	22回	22回				
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	IF	○	22回	22回	主蒸気隔離弁機能検査			
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	39M	-	21回	21回	2次系弁検査			
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	39M	○	20回	20回	2次系弁検査			
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	39M	-	22回	22回	2次系弁検査			
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	B	○	22回	22回	2次系弁検査			
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	52M~130M	○	22回	22回	2次系弁検査			
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	65M	○	21回	21回				
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	B	○	22回	22回	2次系弁検査			
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	52M~156M	○	22回	22回				
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	13M~52M	○	22回	22回				
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	13M~195M	○	22回	22回				
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									
1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	低	130M~195M	-	21回	21回	一部BMあり			
2. 漏えい試験									
3. 分解点検									

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系主要弁	AW-SI-132A	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		AW-SI-132B	高	130M	○	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		AW-SI-132C	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		AW-SI-134A	高	130M	○	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		AW-SI-134B	高	130M	○	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		AW-SI-134C	高	130M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		AW-SI-136A	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		AW-SI-136B	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		AW-SI-136C	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		1式	高	156M	—	20回			
		A蓄圧タンク	高	130M	—	20回			
		B蓄圧タンク	高	130M	—	20回			
		C蓄圧タンク	高	130M	—	20回			
		ほう酸注入タンク	高	130M	—	20回			
		燃料取扱用水タンク	高	130M	—	17回			
		格納容器再循環ポンプ	高	1F	○	22回			
		格納容器再循環ポンプメタクリン	高	10V	—	22回			
		燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ・電動機	高	1F 130M 78M	○ — —	22回 — —			原子炉格納容器再循環ポンプメタクリン その他原子炉注水系機能検査 その他原子炉注水系機能検査 その他原子炉注水系機能検査より追加
		恒設代替低圧注水系		1.機能・性能試験(ポンプ) 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高	1F	○	22回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系機能検査
恒設代替低圧注水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ)	高	B 130M	— —	— —	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系機能検査	20回施設定期検時に設置 その他原子炉注水系機能検査は20回施設定期検査より追加	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁		1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高・低	78M B	— ○	— 22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系停止弁検査 1次系弁検査		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁駆動部		1.機能・性能試験 2.分解点検	高	52M~260M	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系停止弁検査		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の機器		1.機能・性能試験 2.分解点検	高	B 52M~182M 13M~65M	○ ○ ○	22回 22回 22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系停止弁検査		
		1.分解点検	低	13M~260M 26M~130M	○ ○	22回 22回	一部BMあり 一部先行実施		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (検回回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	化学体積制御系 A 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	○	22回	化学体積制御系機能検査	定期事業者検査起動後	
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	-	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加	
		2. 簡易点検 (電動機)		104M	-	22回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
	化学体積制御系 B 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 簡易点検 (電動機)	高	117M	-	22回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加	
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	104M	-	21回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査		
		2. 簡易点検 (電動機)		26M	○	21回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
	化学体積制御系 C 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 簡易点検 (電動機)	高	117M	-	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加	
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	104M	○	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査		
		2. 簡易点検 (電動機)		26M	○	22回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン附属設備]	体積制御タンク	1. 開放点検	高	130M	-	18回		
			1. 開放点検	高	130M	-	20回		
			1. 開放点検	高	130M	-	20回		先行実施
		冷却材アフィルタ	1. 開放点検	高	130M	-	20回		先行実施
			1. 開放点検	高	130M	-	20回		
			1. 開放点検	高	130M	-	20回		
冷却材配線路入口アフィルタ		1. 開放点検	高	130M	-	20回			
		1. 開放点検	高	130M	-	20回			
		1. 開放点検	高	130M	-	20回			
非再生冷却器		1. 開放点検 (管側)	高	130M	-	20回			
		1. 開放点検 (側側)	高	195M	-	20回			
		2. 非破壊試験	高	130M	-	20回		1次系熱交換器検査	
その他原子炉注水系主要弁		1. 分解点検	高	130M	○	17回		20回施設定期検査より追加	
		1. 分解点検	高	130M	○	17回		20回施設定期検査より追加	
		1. 分解点検	高	130M	-	19回		20回施設定期検査より追加	
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁	1. 分解点検	高	130M	-	19回		20回施設定期検査より追加		
	1. 機能・性能試験	高	B	○	22回		1次系弁検査		
	2. 分解点検	高・低	13M~260M	○	22回		1次系弁検査 1次系逆止弁検査		
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高	B	○	22回		1次系弁検査		
	2. 分解点検	高	13M~150M	○	22回		1次系弁検査		
	3. 簡易点検 (特性試験)	高・低	13M~65M	○	22回				
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の機器	1. 分解点検	高	13M~260M	○	22回		一部先行実施		
	1. 分解点検	低	26M~130M	○	22回		一部BMあり 一部先行実施		
	2. 分解点検	高	13M~260M	○	22回		一部先行実施		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機 弁、弁駆動部等含む)	高	IF	○	22回	補助給水系機能検査		
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	-	21回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1M)	
		2. 簡易点検 (電動機)		104M	○	15回			
	A 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検	高	13M	○	22回			
		1. 分解点検 (電動機)	高	130M	-	22回			
		2. 簡易点検 (電動機)		104M	-	22回			
	B 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	-	22回			
		1. 分解点検 (電動機)	高	13M	○	22回			
		2. 簡易点検 (電動機)		13M	○	22回			
	タービン動補助給水ポンプ	1. 機能・性能試験	高	B	○	20回		2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検	高	52M	○	20回		補助給水系ポンプ分解検査	
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	22回		駆動部のタービン含む	
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	○	21回		2次系弁検査	
		2. 分解点検	高	52M~130M	○	21回		2次系弁検査	
		3. 簡易点検 (クランフ入替)		52M	○	20回			
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高	B	○	22回				
	2. 分解点検	高	52M~150M	○	22回				
	3. 簡易点検		13M~26M	○	22回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の機器	1. 分解点検	高	156M	-	21回		一部20回施設定期検査時に設置		
	1. 分解点検	低	13M~130M	○	22回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	原子炉補機冷却系	1.機能・性能試験(弁、駆動部含む) 1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(電動機)	高	IF	○	22回	原子炉補機冷却系機能検査	
	A原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高	B※ 130M 104M	○ ○ -	22回 18回 22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	B原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高	B※ 130M 104M	- -	22回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	C原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高	26M B※ 130M 104M	○ -	22回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：12M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	D原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高	B※ 130M 104M	○ -	20回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	E原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高	B※ 130M 104M	- -	20回 22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	A原子炉補機冷却水冷却器	1.開放点検 2.漏えい試験 3.簡易点検 4.機能・性能試験 5.開放点検	高	13M 13M IF ※X ※X	○ ○ ○ -	22回 22回 22回 21回	1次系熱交換器検査 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査 造・強度事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
	B原子炉補機冷却水冷却器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験 4.機能・性能試験 5.開放点検	高	13M 13M IF ※X ※X	○ ○ ○ -	22回 22回 22回 22回	1次系熱交換器検査 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査 造・強度事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
	C原子炉補機冷却水冷却器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験 4.機能・性能試験 5.開放点検	高	13M 13M IF ※X ※X	○ ○ ○ -	22回 22回 22回 22回	1次系熱交換器検査 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査 造・強度事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
	D原子炉補機冷却水冷却器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験 4.機能・性能試験 5.開放点検	高	13M 13M IF ※X ※X	○ ○ ○ -	22回 22回 22回 22回	1次系熱交換器検査 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査 造・強度事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
	原子炉補機冷却水サージタンク	1.開放点検	高	130M	○	20回	1次系真空破壊予検査	
	原子炉補機冷却水サージタンクパキュームリリーフ弁	1.開放点検	高	130M	○	20回	1次系真空破壊予検査	
	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	1.機能・性能試験	高	IF	○	22回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	20回施設稼働時に設置 20回施設定期検査より追加

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術			
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	A ほう酸ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	22回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
		2. 分解点検 (ポンプ)		78U	—	20回	ほう酸ポンプ分解検査				
		2. 分解点検 (電動機)		78U	—	22回					
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13U	○	22回					
		B ほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	—		20回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
				2. 分解点検 (ポンプ)		78U	—		20回	ほう酸ポンプ分解検査	
				2. 分解点検 (電動機)		78U	○		20回		
				3. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13U	○		22回		
		C ほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	—		20回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
				2. 分解点検 (ポンプ)		78U	—		20回	ほう酸ポンプ分解検査	
	2. 分解点検 (電動機)		78U	—		20回					
	3. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13U	○		22回					
	A 1次系補給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低		B※	—	21回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
			2. 分解点検 (ポンプ)			CBM	—	7回			
		2. 分解点検 (電動機)	78U		—	21回					
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)	26U		—	22回					
	B 1次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	8回					
	A ほう酸タンク	1. 機能・性能試験	高	B※	—	20回	1次系ポンプ機能検査				
		2. 分解点検 (電動機)		78U	—	20回					
3. 簡易点検 (潤滑油入替)		26U		○	21回						
1. 開放点検		195M		—	11回						
1. 開放点検		130M		—	9回						
A ほう酸タンクアトモス弁		高		1次系真空破壊弁検査	—	20回					
A ほう酸タンクバキュームリリーフ弁				1次系真空破壊弁検査	—	20回					
B ほう酸タンクアトモス弁		高		1次系真空破壊弁検査	—	20回					
B ほう酸タンクバキュームリリーフ弁				1次系真空破壊弁検査	—	20回					
1次系純水タンク		低		1. 開放点検	—	14回					
1次系純水タンクアトモス弁	1次系真空破壊弁検査		—	20回							
1次系純水タンクバキュームリリーフ弁	低	1. 開放点検	—	20回							
ほう酸フィルタ		1次系真空破壊弁検査	—	20回							
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	—	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	一部先行実施				
	2. 分解点検		10M~130M	○	22回						
	1. 機能・性能試験		B	—	20回						
	2. 分解点検		156M	—	20回						
	1. 分解点検他		28M~221M	○	22回						
	1. 分解点検他		195M	—	20回						
	1. 開放点検 (管側)		130M	—	17回						
	1. 開放点検 (側側)		195M	—	17回						
	2. 非破壊試験		130M	—	17回						
	1. 開放点検 (管側)		130M	—	17回	1次系熱交換器検査					
ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 開放点検 (側側)	高	130M	—	17回	1次系熱交換器検査	先行実施				
	2. 非破壊試験		130M	—	17回						
	1. 開放点検 (管側)		130M	—	21回						
	1. 開放点検 (側側)		130M	—	21回						
	1. 開放点検 (側側)		130M	—	21回						
	1. 開放点検 (管側)		130M	—	21回						
	1. 開放点検 (側側)		130M	—	21回						
	1. 開放点検 (側側)		130M	—	21回						
	1. 開放点検 (側側)		130M	—	21回						
	1. 開放点検 (側側)		130M	—	21回						
ほう素熱再生前置熱交換器	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	22回	1次系熱交換器検査					
	2. 分解点検		10M~130M	○	22回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査					
	1. 機能・性能試験		B	—	22回						
	2. 分解点検		10M~130M	○	22回						
計測制御系統施設 [ほう素再生設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高	10M~130M	—	21回	1次系弁検査	一部先行実施				
	2. 分解点検		156M	—	17回	1次系逆止弁検査					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	格納容器外制御用空気圧縮機	2台	高	1F	○	22回	制御用空気圧縮系機能検査	
	A格納容器外制御用空気圧縮機・電動機		高	26M CBM	○ -	21回 13回		(振動診断: 3M (対象: 電動機))
B格納容器外制御用空気圧縮機・電動機			高	26M CBM	- ○	22回 1回		(振動診断: 3M (対象: 電動機))
			高	13M	○	22回	制御用空気圧縮系機能検査	
A格納容器内制御用空気圧縮機・電動機		2台	高	1F	○	22回		
			高	26M 78M	○ -	21回 21回		(振動診断: 3M (対象: 電動機))
B格納容器内制御用空気圧縮機・電動機			高	26M 78M	- ○	22回 20回		(振動診断: 3M (対象: 電動機))
			高	13M	○	22回		
計測制御系統施設 [その他設備]	計測制御系統施設 [制御用空気設備] の他の弁	1式	高	B 130M~195M	- ○	22回 22回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] の他の弁駆動部	1式	高	156M	-	22回		一部BMあり
計測制御系統施設 [その他設備]	1.原子炉保護系ロジック回路	34回路	高	1F	○	22回	安全保護系機能検査	
	2.安全防護系ロジック回路	26回路	高	13M~260M 13M~260M	○ ○	22回 22回		安全保護系設定値確認検査
事故時監視計器	圧力監視計器	6個	高	13M	○	22回	プラント状態監視設備機能検査	一部20回施設設定検時に設置
	水位監視計器	20個	高					
格納容器ガス採取系設備	流量監視計器	13個	高					
	温度監視計器	8個	高					
格納容器ガス採取系設備	格納容器ガス採取系設備	4台	高	130M	-	17回	1次系破砕板検査	
	1.制御系制御系	1式	高	13M	○	22回	計測制御系機能検査	一部定期事業者検査起動後
1次系及び2次系計測制御装置	1.1次系及び2次系計測制御装置	1式	高・低	1F	○	22回	計測制御系監視機能検査	一部定期事業者検査起動後
			高・低	13M	○	22回	計測制御系監視機能検査	

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は期度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
計測制御システム施設 【その他設備】	炉外核計測装置 中性子領域計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置	1. 特性試験	高	13M	○	22回	核計表設備検査	一部定期事業者検査起動後
	炉内核計測装置	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高・低	26M 26M 13M	○ ○ ○	22回 22回 22回	核計表設備検査	
	炉内計装用シンブルチェーン	1. 非破壊試験	高	52M	○	20回	炉内計装用シンブルチェーン体積検査	
	制御体位置指示装置設置試験	1. 特性試験	高	13M	○	22回	制御体位置指示装置設置試験	
	1. ハーミジック回路 原子炉保護系 安全防護系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	安全保護系機能検査	
	総合インターロック 1. タービントリップによる原子炉、発電機トリップ回路 2. 発電機トリップによる原子炉、タービントリップ回路 3. 原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	総合インターロック検査	
	原子炉の停止制御回路 可搬型格納容器ガス試験圧縮装置	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験	高 高	1F 1F	○ ○	22回 22回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査 可搬型重大事故等対応設備機能検査	20回施設検時に設置 20回施設定期検査より追加
	計測制御システム施設【その他設備】 の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 78M~260M	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	
	計測制御システム施設【その他設備】 の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高・低	B 65M~150M 65M~130M 13M~260M	○ ○ ○ ○	21回 21回 21回 22回		一部先行実施 保全の有効性評価結果No. 4, 5の反映 一部先行実施 一部BMあり 保全の有効性評価結果No. 3, 6, 7, 8, 9の反映
	計測制御システム施設【その他設備】 機器	1. 分解点検他	低	12M~260M	○	22回		先行実施
	ほう酸回収装置	1. 機能・性能試験	低	1F	○	22回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ))
	ほう酸回収装置 (弁、機器)	1. 分解点検他 2. 簡易点検 (ガasketパッキン取替)	低	65M~130M 130M	○ -	22回 22回		先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	A補助建屋冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ CBM 117M 39M	- - - -	20回 20回 21回		先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ))
	B補助建屋冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ CBM 117M 39M	- - - -	20回 15回 20回 22回		先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	Aほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ CBM 130M 39M	- - - -	22回 19回 22回 21回		先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
Bほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ CBM 130M 39M	- - - -	21回 21回 21回 22回		先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
A補助建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	低	B※ 260M	- -	22回 21回		先行実施 液体廃棄物処理系設備検査	
B補助建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	低	B※ 260M 143M	- -	22回 20回		先行実施 液体廃棄物処理系設備検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	A補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ)	低	B※ 260M	○	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	B補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低	B※ 143M	○	17回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
A格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低	B※ 143M	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	2.分解点検 (ポンプ)	低	B※ 260M	○	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
B格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低	78M	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	3.簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ 13M	○	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
A格納容器サンブポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ)	低	78M	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	3.簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ 52M	○	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
B格納容器サンブポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低	B※ 52M	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	3.簡易点検 (ポンプ)	低	B※ 117M	○	8回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
A廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低	B※ 117M	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	3.簡易点検 (潤滑油入替)	低	26M	○	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
B廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ)	低	B※ CBM	○	5回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	3.簡易点検 (電動機)	低	117M	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
C廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (電動機)	低	26M	○	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	3.簡易点検 (ポンプ)	低	B※ CBM	○	7回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えい防止に係る警報機能	1.特性試験	低	26M	○	21回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施	
	2.機能・性能試験	低	13M	○	22回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施	
使用済樹脂スルースポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ)	低	IF	○	22回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施 (振動診断: 6M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	3.簡易点検 (電動機)	低	B※ CBM	○	3回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施 (振動診断: 6M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
放射性廃棄物の廃棄施設【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】その他の弁	1.機能・性能試験	低	117M	○	20回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施	
	2.分解点検	高・低	39M	○	21回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施	
放射性廃棄物の廃棄施設【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】その他機器	1.機能・性能試験	高	130M~260M	○	22回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系真空破壊弁検査	一部先行実施	
	2.分解点検	低	65M~260M	○	22回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	一部B.Mあり 一部先行実施	
	1.分解点検他	低	13M~208M	○	22回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	一部先行実施	
	2.分解点検他	低		○	22回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	一部先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	格納容器内高レンジエリアモニタ	4個	高	1. 特性試験 1. 機能・性能試験	○	22回	エリアモニタ機能検査	
	格納容器排気筒ガスモニタ (4R-21)		高	2. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒ガスモニタ (4R-26)		高	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器じんあいモニタ (4R-40)		低	1. 機能・性能試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器ガスモニタ (4R-41)		低	1. 機能・性能試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	復水器空気抽出器ガスモニタ (4R-43)		高	2. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	安全補機室排気ガスモニタ (4R-46)		低	1. 機能・性能試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	一般補機室排気ガスモニタ (4R-48A)		低	2. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	一般補機室排気ガスモニタ (4R-48B)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット排気ガスモニタ (4R-49)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	
建屋内漏洩検知ガスモニタ (4R-50B)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
蒸気発生器ブローダウン水モニタ (4R-55)		高	1. 機能・性能試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
原子炉補機冷却水モニタ (4R-56)		低	2. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
補助蒸気復水モニタ (4R-57)		低	1. 機能・性能試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
タービンサンパ水モニタ (4R-58)		低	2. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
1次系建屋基礎湧水モニタ (4R-59)		低	1. 機能・性能試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
A高感度型主蒸気管モニタ (4R-65)		高	2. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
B高感度型主蒸気管モニタ (4R-66)		高	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
C高感度型主蒸気管モニタ (4R-67)		高	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
1次冷却材連続モニタ (4R-70)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
ほう酸蒸留水モニタ (4R-71)		低	1. 機能・性能試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
格納容器排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ) (4R-80A)		高	2. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
格納容器排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ) (4R-80B)		高	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
補助建屋排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ) (4R-81A)		高	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
補助建屋排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ) (4R-81B)		高	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
A主蒸気管モニタ (4R-87)		高	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
B主蒸気管モニタ (4R-88)		高	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
C主蒸気管モニタ (4R-89)		高	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
格納容器内エアロック区域エリアモニタ (4R-2)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
A充てんポンプ室エリアモニタ (4R-4A)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
B充てんポンプ室エリアモニタ (4R-4B)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
C充てんポンプ室エリアモニタ (4R-4C)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
使用済燃料ピット区域エリアモニタ (4R-5)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
炉内計装区域エリアモニタ (4R-7)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
格納容器内オパレーティングフロアエリアモニタ (4R-10)		低	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査		
可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ		高	1. 特性試験	○	22回	放射線監視装置機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 20回施設定検時に設置	
放射線管理施設「放射線管理用計測装置」その他の弁	1式	高	1. 分解点検	-	22回	1次系弁検査		
放射線管理施設「放射線管理用計測装置」その他機器	1式	高	1. 分解点検他	○	22回			
		低	1. 分解点検他	○	22回		一部BMあり	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
放熱管理施設 [換気設備]	A格納容器排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 4F	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B格納容器排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 4F	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
A格納容器空気浄化フィルタユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 4F	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	
	B格納容器空気浄化フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 4F	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	
中央制御室非常用循環系 (A系列)		1.機能・性能試験 2.開放点検	高	1F 4F	-	23回※	中央制御室非常用循環系機能検査	3号設備 ※：3号での実績
	中央制御室非常用循環系 (B系列)	1.機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部を含む) 2.開放点検	高	1F	○	22回	中央制御室非常用循環系機能検査	
中央制御室非常用循環フィルタユニット (A系列)		1.よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査) 2.機能・性能試験	高	1F	-	23回※	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	3号設備 ※：3号での実績
		3.開放点検 (フィルタ取替)		X※1	-	23回※	1次系換気空調設備検査	3号設備 ※1：よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施 ※2：3号での実績
		3.開放点検		4F	-	22回※	1次系換気空調設備検査	3号設備 ※：3号での実績
中央制御室非常用循環フィルタユニット (B系列)		1.よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査) 2.機能・性能試験	高	1F	○	22回	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
		3.開放点検 (フィルタ取替)		1F	○	22回	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
		3.開放点検		X※	-	22回	1次系換気空調設備検査	※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
A補助建屋排気フィルタユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検	低	4F	-	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
B補助建屋排気フィルタユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 4F	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
燃料取扱室排気フィルタユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 4F	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施
3A中央制御室空調ユニット		1.開放点検	高	52M	-	22回※		3号設備
	3B中央制御室空調ユニット	1.開放点検	高	52M	-	22回※		3号設備
	3C中央制御室空調ユニット	1.開放点検	高	52M	-	21回		
3D中央制御室空調ユニット		1.開放点検	高	52M	-	21回		
	A格納容器給気ユニット	1.開放点検	低	52M	○	20回		先行実施
	B格納容器給気ユニット	1.開放点検	低	52M	○	20回		先行実施
A補助建屋給気ユニット		1.開放点検	低	52M	○	20回		先行実施
	B補助建屋給気ユニット	1.開放点検	低	52M	○	20回		先行実施
	A格納容器給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	1F 260M	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))
B格納容器給気ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	1F 260M	○ -	22回 8回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	18回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	12回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))
A格納容器排気ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	1F 260M	○ -	22回 8回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	18回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))
B格納容器排気ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	1F 260M	○ -	22回 3回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	18回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	3回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)			○	18回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	21回		
	B格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)			○	19回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	21回		
	C格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)			○	20回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	22回		
	D格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)			○	20回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	22回		
A格納容器空気浄化ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 91M	○	22回	1次系換気空調設備検査		
	2.分解点検 (ファン)			○	21回			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	22回			
B格納容器空気浄化ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査		
	2.分解点検 (ファン)			○	21回			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	19回			
34A中央制御室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	23回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M) 3号設備 ※: 3号での実績	
	2.分解点検 (ファン)			○	20回※			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	22回※			
34B中央制御室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	23回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M) 3号設備 ※: 3号での実績	
	2.分解点検 (ファン)			○	21回※			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	17回※			
34C中央制御室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M)	
	2.分解点検 (ファン)			○	17回			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	20回			
34D中央制御室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 78M	○	22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M)	
	2.分解点検 (ファン)			○	21回			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	20回			
34A中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	23回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機)) 3号設備 ※: 3号での実績	
	2.分解点検 (ファン)			○	19回※			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	22回※			
34B中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	23回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機)) 3号設備 ※: 3号での実績	
	2.分解点検 (ファン)			○	15回※			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	21回※			
34C中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))	
	2.分解点検 (ファン)			○	20回			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	21回			
34D中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))	
	2.分解点検 (ファン)			○	16回			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	20回			
34A中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	23回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M) 3号設備 ※: 3号での実績	
	2.分解点検 (ファン)			○	16回※			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	21回※			
34B中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F 260M	○	23回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M) 3号設備 ※: 3号での実績	
	2.分解点検 (ファン)			○	17回※			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)			○	19回※			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	3.C中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
		2.分解点検 (ファン)						
3.D中央制御室非常用循環ファン・電動機	3.D中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
		2.分解点検 (ファン)						
A補助建屋給気ファン・電動機	A補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: 電動機))
		2.分解点検 (ファン)						
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)						
B補助建屋給気ファン・電動機	B補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: 電動機))
		2.分解点検 (ファン)						
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)						
A補助建屋排気ファン・電動機	A補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M)
		2.分解点検 (ファン)						
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)						
B補助建屋排気ファン・電動機	B補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M)
		2.分解点検 (ファン)						
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)						
C補助建屋排気ファン・電動機	C補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M)
		2.分解点検 (ファン)						
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)						
A燃料取扱室給気ファン・電動機	A燃料取扱室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: 電動機))
		2.分解点検 (ファン)						
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)						
B燃料取扱室給気ファン・電動機	B燃料取扱室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: 電動機))
		2.分解点検 (ファン)						
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)						
A燃料取扱室排気ファン・電動機	A燃料取扱室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M)
		2.分解点検 (ファン)						
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)						
B燃料取扱室排気ファン・電動機	B燃料取扱室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M)
		2.分解点検 (ファン)						
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)						
自動ダンパ	1式	1.機能・性能試験	高・低	IF 65M	○	22回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
		2.分解点検 (ファン)						
放射線管理施設「換気設備」その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	-	20回	1次系換気空調設備検査	1次系安全弁検査
		2.分解点検						
放射線管理施設「換気設備」その他機器	1式	1.機能・性能試験	高	130M	-	20回	1次系安全弁検査	1次系逆止弁検査
		2.分解点検						
放射線管理施設「換気設備」その他機器	1式	1.機能・性能試験	高	13M~260M	○	22回	1次系安全弁検査	一部先行実施
		2.分解点検						
放射線管理施設「換気設備」その他機器	1式	1.機能・性能試験	低	13M~260M	○	22回	1次系安全弁検査	一部先行実施
		2.分解点検						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (点検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術 10年に1回は設計圧力にて実施 (第21回施設定検において設計圧力にて実施)
原子炉格納容器 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器	1. 漏えい率試験	高	3F	-	22回	原子炉格納容器全体漏えい率検査	
	エアロック	1. 漏えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (ハッキン取替他)	高	2回/3F 52M	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
原子炉格納容器	非常用 1個	1. 漏えい率試験	高	13M	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		2. 分解点検		2回/3F	○	19回		
		3. 簡易点検 (ハッキン取替他)		13M	○	22回		
	1個	1. 漏えい率試験 2. 非破壊試験	高	2回/3F	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	ISIプログラムによる。 [明表-6]
	1式	3. 開放点検	高	13M	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	1式	1. 開放点検	高	開放時※	-	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	※但し、最長1回/10F
	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	70個	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	20個	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等を含む)	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	4V-CS-004A	1. 分解点検	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
4V-CS-004B	1. 分解点検	高	52M	○	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CS-004C	1. 分解点検	高	52M	○	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-DP-001A	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-DP-001B	1. 分解点検	高	130M	-	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-DP-003A	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-DP-003B	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-WL-355	1. 分解点検	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-WL-019	1. 分解点検	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CS-007	1. 分解点検	高	52M	-	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-WL-354	1. 分解点検	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-WL-018	1. 分解点検	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-VR-001A	1. 分解点検	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-VR-001B	1. 分解点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-VR-002A	1. 分解点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-VR-002B	1. 分解点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-IA-508A	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CS-310	1. 分解点検	高	130M	-	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CC-489	1. 分解点検	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CC-482	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CC-523	1. 分解点検	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CC-521	1. 分解点検	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CC-546	1. 分解点検	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CC-544	1. 分解点検	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-IA-508B	1. 分解点検	高	130M	○	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
1式	1. 分解点検	高	52M~156M	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
原子炉格納容器隔離弁駆動部		2. 簡易点検 (特性試験他)	高	13M~52M	○	22回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器真空速がし弁	4個	高	IF	○	22回	原子炉格納容器真空速がし弁機能検査	
	原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他弁	1式	高・低	52M~130M 52M~130M 52M	○ ○ -	22回 22回 22回	1次系弁検査 1次系弁検査	
	原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他弁駆動部	1式	高・低	52M~65M 13M~156M	○ ○	22回 22回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他機器	1式	高	13M~130M	○	22回		一部BMあり
	原子炉格納容器スプレイ系		高	1F	○	22回	原子炉格納容器安全系機能検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他安全設備]		高	1F	○	22回	その他原子炉注水系統機能検査	[対象設備] ・A原子炉格納容器スプレイポンプによる代替炉心注入系 20回施設定期検査より追加
	A原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機		高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	(振動診断：1M) その他原子炉注水系統ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加
	B原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機		高	130M 26M 130M 130M	○ ○ - -	18回 22回 21回 19回		(振動診断：1M) (振動診断：1M)
	A格納容器スプレイ冷却器		高	130M 195M 130M	- - -	19回 19回 19回		
	B格納容器スプレイ冷却器		高	130M 195M 130M	- - -	20回 20回 20回		
原子炉格納容器スプレイ系主要弁	4W-CP-024A	1. 分解点検 2. 非破壊試験	高	130M	-	20回	1次系熱交換器検査	
	4W-CP-024B	1. 分解点検	高	130M	-	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4W-CP-054A	1. 分解点検	高	130M	-	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4W-CP-054B	1. 分解点検	高	130M	-	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4W-CP-001A	1. 分解点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4W-CP-001B	1. 分解点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4W-CP-003A	1. 分解点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4W-CP-003B	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4W-VS-101A	1. 分解点検	高	156M	○	19回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
	4W-VS-101B	1. 分解点検	高	65M	-	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部	4W-VS-102A	1. 分解点検	高	65M	-	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
	4W-VS-102B	1. 分解点検	高	65M	-	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
	4W-VS-103A	1. 分解点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
	4W-VS-103B	1. 分解点検	高	65M	-	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
	4-PCV-2465	1. 分解点検	高	65M	-	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
	4-PCV-2485	1. 分解点検	高	65M	-	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	20回施設定期検査より追加
	よう素除去薬品タンク	1. 開放点検	高	130M	-	22回		
	よう素除去薬品タンクバキュームリリーフ弁	1. 分解点検	高	130M	-	22回	1次系真空破線弁検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (検回回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	アニュウラス空気浄化系	1.機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む) 1.よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査) 1.よう素フィルタ性能検査 (漏えい率検査)	高	1F	○	22回	アニュウラス循環排気系機能検査	
	A, Bアニュウラス空気浄化フィルタユニット		高	1F	○	22回	アニュウラス循環排気系フィルタ性能検査	A系、B系交互に実施
A系	A系	1.開放点検 (フィルタ取替)	高	X※	-	22回	アニュウラス循環排気系フィルタ性能検査	※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
	B系	1.機能・性能試験 2.開放点検	高	1F 4F	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	
A系	A系	1.機能・性能試験 2.開放点検 (ファン)	高	1F 78M	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
	B系	1.機能・性能試験 2.開放点検 (ファン)	高	1F 78M	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
安全補機室空気浄化フィルタユニット	安全補機室空気浄化フィルタユニット	1.機能・性能検査 (よう素フィルタ性能検査) 1.機能・性能検査 2.開放点検 (フィルタ取替)	高	1F 4F	○ -	22回 20回	1次系換気空調設備検査	※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
	A安全補機室空気浄化ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	高	1F 260M	○ -	22回 22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
B系	B系	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	高	1F 78M	○ -	22回 21回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
	安全補機室空気浄化ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	高	1F 78M	○ -	22回 21回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
静的触媒式水素再結合装置	MB-045	1.外観点検 2.機能・性能試験	高	5F	-	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
	MB-046	1.外観点検 2.機能・性能試験	高	5F	-	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	MB-047	1.外観点検 2.機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
	MB-048	1.外観点検 2.機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	MB-049	1.外観点検 2.機能・性能試験	高	5F	-	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
	13個	1.機能・性能試験 1.習性点検	高	13M	○	22回	計測制御系監視機能検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	B	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	130M	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	1式	1.機能・性能試験 2.簡易点検 (特性試験)	高	65M~156M	-	22回	1次系弁検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
	1式	1.機能・性能試験 2.簡易点検 (特性試験)	高	65M	-	21回	1次系逆止弁検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	1式	1.機能・性能試験 2.簡易点検 (特性試験)	高	13M~260M	○	22回	1次系逆止弁検査	20回施設定期検査に設置 20回施設定期検査より追加
	1式	1.機能・性能試験 2.簡易点検 (特性試験)	低	65M~130M	○	22回	1次系逆止弁検査	一部BMあり
その他AM (代替再循環、格納容器内注水) 機器	1式	1.分解点検	高	130M	-	20回	1次系逆止弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回点検時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象を含む)	1式	高	10Y 1Y	— ○	22回 22回	クラス1機器供用期間中検査 クラス1機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別表-1]
	クラス2機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象を含む)	1式	高	10Y	○	22回	クラス2機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別表-2]
	クラス3機器(供用期間中検査対象)	1式	高	10Y	○	22回	クラス2機器供用期間中検査 クラス3機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別表-3]
	クラス1機器N基合金使用部位(重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象を含む)	1式	高	5~10Y	—	21回	供用期間中特別検査のうちクラス1機器N1基合金使用部位特別検査	ISTプログラムによる。 [別表-4]
	クラス2管(原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象を含む)	1式	高	25%/10Y	—	22回	供用期間中特別検査のうちクラス2管(原子炉格納容器内)特別検査	ISTプログラムによる。 [別表-5]
	重大事故等クラス2機器	1式	高	10Y	—	18回	構造健全性検査	ISTプログラムによる。 [別表-1]
	重大事故等クラス3機器	1式	高	10Y 1Y~10Y 10Y	— ○ —	22回 22回 —	重大事故等クラス2機器供用期間中検査 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 重大事故等クラス3機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別表-7] ISTプログラムによる。 [別表-8] 22回施設定期検査より設定 一部先行実施
	クラス3機器、クラス4管、非気筒及び安全上重要なダクト耐圧部(クラス3機器LSIは除く)	1式	高・低	100%/5Y~ 100%/10Y	—	20回	構造健全性検査	
	レストレイメント 1. 1次冷却材管ボウ/スプレイト 2. 主蒸気配管ボウ/スプレイト 3. 主給水配管ボウ/スプレイト	1式	高	1F 100%/10Y	○ —	22回 16回	構造健全性検査 レストレイメント検査	
	原子力設備 [その他設備] その他の弁	1式	高・低	B 130M 13M~130M 12M~156M	— ○ ○ ○	22回 22回 22回 22回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	
原子力設備 [その他設備] その他機器	1式	高	低	○	22回	耐震健全性検査		
耐震クラスS、Bに属する設備の支持構造物(クラス1、2、3供用期間中検査対象機器を除く)	1式	高・低	高・低	○	22回			
その他AM(格納容器内注水)機器	1式	高	高	52M~260M 26M B	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
高圧タービン		高	高	13M 26M 2F 13M	○ ○ — ○	22回 21回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第1低圧タービン		高	高	26M 2F 13M	○ — ○	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第2低圧タービン		高	高	26M 2F 13M	○ ○ ○	22回 21回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第3低圧タービン		高	高	26M 2F 13M	○ — ○	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
ロータ		高	高	B 1F	○ ○	22回 22回	蒸気タービン開放検査	タービン開放点検に合わせて実施 一部定期事業者検査起動後
蒸気タービン本体及び附属設備		高	高	1F	○	22回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン [復水器]	A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (ストレーナ清掃)	高	39M 104M	-	21回 21回		(振動診断: 6M (対象: 電動機))
	B 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (ストレーナ清掃)	高	39M 13M	-	22回 17回		(振動診断: 6M (対象: 電動機))
	C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (ストレーナ清掃)	高	39M 104M	○	20回 16回		(振動診断: 6M (対象: 電動機))
	蒸気タービン [復水器] その他機器 1式	1. 分解点検他	高	78M~260M 13M~130M	○	22回		一部BMあり
	A 湿分分離加熱器 胴側	1. 開放点検	低	26M	-	22回		蒸気タービン開放検査
	A 湿分分離加熱器 管側 (発電機側)	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高	130M 130M	-	18回 18回		蒸気タービン開放検査
	B 湿分分離加熱器 胴側	1. 開放点検	高	26M	○	21回		蒸気タービン開放検査
	B 湿分分離加熱器 管側 (発電機側)	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高	130M 130M	-	17回 19回		蒸気タービン開放検査
	A 脱水器	1. 開放点検	高	26M	-	22回		2次系容器検査
	B 脱水器	1. 開放点検	高	26M	○	21回		2次系容器検査
	脱水器タンク	1. 開放点検	高	13M	○	22回		2次系容器検査
	第1 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	-	21回 16回		2次系熱交換器検査
	第1 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	-	22回 17回		2次系熱交換器検査
	第1 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	○	18回 18回		2次系熱交換器検査
	第2 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	-	21回 16回		2次系熱交換器検査
第2 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	-	22回 17回		2次系熱交換器検査	
第2 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	○	18回 18回		2次系熱交換器検査	
第3 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	-	22回 17回		2次系熱交換器検査	
第3 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	○	18回 18回		2次系熱交換器検査	
第3 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	-	19回 19回		2次系熱交換器検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	— — —	22回 22回 17回	2次系熱交換器検査	
	第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	○ ○ —	18回 18回 19回	2次系熱交換器検査	
	第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	65M B 130M	— — —	19回 19回 19回	2次系熱交換器検査	
	第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	130M B 130M	— — —	19回 19回 16回	2次系熱交換器検査	
	第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	130M B 130M	— — —	19回 19回 22回	2次系熱交換器検査	
	グラント蒸気復水器	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	130M IF B	— ○ —	17回 22回 22回	2次系熱交換器検査	
	給水、復水系統	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	130M	—	22回	蒸気タービン附属設備機能検査	定期事業者検査起動後
	Aタービン動主給水ポンプ	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 分解点検 (ポンプ)	高	B 26M 26M	— — —	22回 22回 22回	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	
	Bタービン動主給水ポンプ	3. 簡易点検 (オイルフィルタ取替) 1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 分解点検 (ポンプ)	高	B 26M 26M 13M	○ ○ ○ ○	21回 21回 21回 22回	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ) 2. 簡易点検 (電動機)	高	130M 156M 13M	— ○ ○	20回 21回 22回	2次系ポンプ機能検査	
	Aタービン動主給水ブースタポンプ	1. 簡易点検 (潤滑油入替他) 2. 簡易点検	高	52M 13M	— ○	20回 22回		
	Bタービン動主給水ブースタポンプ	1. 簡易点検 (ストレーナ点検) 2. 簡易点検 (ストレーナ点検)	高	52M 13M	○ ○	22回 19回		
電動主給水ブースタポンプ	1. 簡易点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 13M	— ○	21回 22回			
A復水ブースタポンプ・電動機	1. 簡易点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (電動機)	高	130M 104M	○ ○	39M 15回			
B復水ブースタポンプ・電動機	1. 簡易点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (電動機)	高	39M 104M	○ —	20回 16回			
C復水ブースタポンプ・電動機	1. 簡易点検 (ポンプ) 2. 簡易点検 (電動機)	高	39M 104M	○ —	22回 17回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (点検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	A.復水配管塔 B.復水配管塔 C.復水配管塔 D.復水配管塔 E.復水配管塔 復水タンク	1.開放点検	高	130M	—	21回	2次系容器検査		
		1.開放点検	高	130M	—	22回	2次系容器検査		
		1.開放点検	高	130M	○	13回	2次系容器検査		
		1.開放点検	高	130M	—	14回	2次系容器検査		
		1.開放点検	高	130M	—	15回	2次系容器検査		
		1.開放点検	高	130M	—	15回	2次系容器検査		
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備] その他機器	1式	1.簡易点検 (通気管金網清掃)	高	26M~260M	○	22回		一部先行実施	
		1.分解放点検	低	13M~260M	○	22回		一部BMあり	
		1.開放点検	高	IF	○	22回		一部先行実施	
		2.非破壊試験	高	肉厚管理指針による	○	22回		蒸気タービン開放検査	
		1.外観点検	高・低	100%/10Y	○	22回		2次系配管検査	
		2.非破壊試験	高・低	肉厚管理指針による	○	22回		2次系配管検査	定期作業者検査起動後
		1.機能・性能試験 (駆動部含)	高	26M~52M	○	22回		タービンバイパス弁機能検査	
		2.分解放点検	高	26M~52M	○	22回			
		3.簡易点検 (クランドパッキン取替)	高	26M	○	22回			
		1.分解放点検	高	13M~65M	○	22回			
蒸気タービン [その他設備] その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	13M	○	22回			
		2.分解放点検	高	B	○	22回		1次系安全弁検査	
		1.機能・性能試験	高	52M~130M	○	22回		2次系弁検査	
		2.分解放点検	高	B	○	20回		1次系逆止弁検査	
		1.機能・性能試験	高	52M	○	20回		2次系弁検査	
		3.簡易点検 (特性試験)	高	13M~52M	○	22回			
		1.分解放点検	高	13M~260M	○	22回			
		1.分解放点検	低	12M~260M	○	22回			一部先行実施
		1.機能・性能試験	高	IF	○	22回			一部BMあり
		1.外観点検	高	10Y	—	—			一部先行実施
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	1式	1.外観点検	高	IF	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.外観点検	高	10Y	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.外観点検	高	1Y	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	低	IF	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	低	B※	—	23回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検 (電動機)	低	1Y	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検 (電動機)	高・低	CBM	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	高	13M~208M	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	高	39M~156M	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	高	52M~156M	—	21回		20回施設設定検時に設置	
その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備]	1式	1.分解放点検	高	26M~104M	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	13M~240M	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	12M~13M	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	12M~13M	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	12M~13M	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	12M~13M	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	12M~13M	○	22回		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	12M~13M	○	22回		20回施設設定検時に設置	
その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護施設] その他機器	1式	1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	
		1.分解放点検	低	260M	—	—		20回施設設定検時に設置	

クラス1 機器供用期間中検査

検査間隔延長プログラム

項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	故障数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考					
								2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
81.102	B-A	下部筒の取手溶接継手	体積	可能範囲 各100% ※3	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100% ※3	-	第17回	-	第18回	-	-	-	-	-	-	第20保全 サイクル	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル	2020年 第23保全 サイクル	(重大事故等クラス2機器)	
82.111	B-B	上部筒と下部筒との筒溶接継手	体積	5% ※3	1	水中UT (内面)	5% ※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
83.105	B-C	下部筒とトランジションリングとの筒溶接継手	体積	5% ※3	1	水中UT (内面)	5% ※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
83.105	B-C	トランジションリングと下部筒との筒溶接継手	体積	5% ※3	1	水中UT (内面)	5% ※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
83.105	B-C	上部筒と上部筒フランジとの筒溶接継手	体積	可能範囲 各100%	1	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
83.10	B-D	冷却材入口管と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
83.20	B-D	冷却材出口管と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
85.10	B-F	冷却材入口管管首のみの部分	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
86.10	B-G-1	冷却材出口管管首とセーフエントの溶接継手(厚み≧100mm以上)※4	体積及び表面	可能範囲 各100%	3	水中UT PT	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23年、090系川崎合金に溶接継手 (重大事故等クラス2機器)
86.30	B-G-1	ナット	VT-1	100%	58	VT-1 (消えい時又は 取外し時)	100% 58	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23年、090系川崎合金に溶接継手 (重大事故等クラス2機器)
86.40	B-G-1	スタットボルト	体積	100%	58	UT	100% 58	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
86.50	B-G-1	筒フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58	UT	100% 58	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
87.10	B-G-2	フランジ	VT-1	100%	58	VT-1 (消えい時又は 取外し時)	100% 58	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
87.10	B-G-2	マーキングフランジ	VT-1	2.5%	3	VT-1 (消えい時又は 取外し時)	2.5% 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)

※1：新規制基準施行(25年7月)後は、種別規格 JSIE S MAI-2008 を適用する。
 ※2：NRC文書「実用発電用原子炉及びその附属設備における圧力容器検査の標準を引続き適用することに関する勧告」(2014年12月)を適用する。
 ※3：NRC文書「実用発電用原子炉及びその附属設備における圧力容器検査の標準を引続き適用することに関する勧告」(2014年12月)を適用する。
 ※4：新規制基準施行(25年7月)後は、種別規格 JSIE S MAI-2008 を適用し、mmはAと置き替える。

検査間隔延長プログラム

検査間隔延長プログラム		高浜発電所第4号機検査計画(10年間)												備考									
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
01.10	G-P-1	容器内部	VT-3	全範囲の100% 各検査時時期	1	VT-3	全範囲の100% 各検査時時期	-	第17回	第18回	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
01.10	G-P-1	容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時時期 ※2	1	VT-3	全範囲の100% 各検査時時期	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
01.60	G-P-1	炉心領域外の内部取付物	VT-3	可能範囲100%	4	VT-3	可能範囲100%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
01.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲100%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
01.40	G-P-1	下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲100%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
01.40	G-P-1	炉心内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%	4	VT-3	可能範囲100%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
01.70	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	可能範囲100%	1	VT-3	可能範囲100%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
01.70	G-P-2	下部炉心支持構造物	VT-3	可能範囲100%	1	VT-3	可能範囲100%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
01.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲100%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
01.50	G-P-2	下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%	1	VT-3	可能範囲100%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部)	体積又は表面	最外層の2.5%	2 (※2)	PT	最外層の2.5%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)	体積又は表面	最外層の2.5%	2 (※2)	PT	最外層の2.5%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲100%	-	VT-2	可能範囲100%	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%
F1.41	F-A	支持構造物 サブポート サブポート サブポート	VT-3	2.5%	6	VT-3	可能範囲100%	-	-	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%

※1: 制御棒駆動ハウジング(2.5%)は、維持規格(JSME S MAI-2008)を適用する。
 ※2: NIA文庫「東海発電所原子炉及びその附属施設における放射線計測に関する取組」を参照し、JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。
 ※3: 2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23検査サイクルより維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の7.5%」と読み替える。
 ※4: 2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23検査サイクルより維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の7.5%」と読み替える。

検査間隔延長プログラム

検査間隔延長プログラム		高圧発電所第4号機検査計画(10年間)													備考									
項目番号	カナコリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	取組枚数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		
								検査の範囲及び程度	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回		
82.11	B-B	上部間と上部継手との間継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	-	-	-	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		下部間と下部継手との間継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
82.12	B-B	上部間の隻手継手	体積	各10%	2	UT	各10%	-	A10%	-	-	-	B10%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		下部間の隻手継手	体積	各10%	2	UT	各10%	-	-	A10%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B10%	-	-
82.13	B-B	上部間と下部間との間継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	-	-	-	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
83.30	B-D	管台と管壁との溶接継手	体積	2.5%	6	UT	2.5%	-	1 (サーージ管台)	-	-	-	-	1 (スプレイ管台)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		管台内面の丸みの部分	体積	2.5%	6	UT	2.5%	-	1 (サーージ管台)	-	-	-	-	1 (スプレイ管台)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
83.40	B-D	管台とサーフェンドの溶接継手 (呼び径100mm以上)※3																						
		加圧器送がし弁管台																						
		加圧器安全弁管台	体積及び表面	2.5%	3	UT PT	2.5%	-	-	-	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		加圧器スプレイ管台																						
87.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1	2.5%	16	VT-1 (抜たい時又は取外し時)	2.5%	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		支保部分の管壁への取付け溶接継手 (スカーフ溶接継手)	表面	7.5%	1	PT	7.5%	-	-	-	2.5%	-	-	2.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
B15.20	B-P	圧力保持管	VT-2	可換範囲 100%	-	VT-2	可換範囲 100%	-	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	可換範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物(スカーフ、基礎ボルト)	VT-3	2.5%	1	VT-3	2.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	

※1: 新編標準検査旅行(2.5年7月)後は、維持規格 JSNE S MA1-2008を適用する。
 ※2: NIA文庫「実用発電用圧力容器及びその附属設備における検査と引越起工等」を適用する。
 ※3: (2019年度中の計画変更)を適用する。第23回検査サイクルより維持規格 JSNE S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※4: 新編標準検査旅行(2.5年7月)後は、維持規格 JSNE S MA1-2008を適用し、mmはAと読み替える。

検査間隔延長プログラム

検査間隔延長プログラム		高浜発電所第4号機検査計画(10ヶ年)												備考								
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2005年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
									第17回	第18回	第19回 検査 サイクル	第20回 検査 サイクル	第21回 検査 サイクル	第22回 検査 サイクル	第23回 検査 サイクル							
B2.40	B-B	管束と水室壁との溶接継手	体積	1基の25%	3	UT	1基の25%	-	C 9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C 8%	-
B2.60	B-D	冷却材入口管束の両面の丸みの部分 冷却材出口管束の両面の丸みの部分	体積	1基の25%	6	UT	1基の25%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C 1%	-
B5.70	B-F	冷却材入口管束とタービンエンドの溶接継手 冷却材出口管束とタービンエンドの溶接継手 (呼び径100mm以上) ※3	体積及び表面	1基の25%	6	UT PT	1基の25%	-	A 入口 (UT)	B 出口 (+1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B 入口 (+2)	-
B7.30	B-e-2	1次側マンボールの取付けボルト	VT-1	1基の25%	96	VT-1 (漏えい検又は 取外し時)	1基の25%	-	C 入口 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C 入口 3	-
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可検査範囲	-	VT-2	可検査範囲	-	可検査範囲 100%	可検査範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	可検査範囲 100%	可検査範囲 100%
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベアスプレート、基礎ボルト)	VT-3	1基の25%	12	VT-3	1基の25%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C 1

※1：新機軸基準施行(25年7月)後は、維持規格 JSME S MAI-2008を適用する。
 ※2：NRA文書「費用発生用度子母及びその附属設備における故障を引き起こす発熱その他の危険の排除」(令和5年6月5日原簿規第1006051号)の改正版(以下、最終版NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の溶接継手の試験程度等)新機軸要件に関する事業者意識の認知にかんする会」(令和5年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23回検査サイクルより維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。
 ※3：新機軸基準施行(25年7月)後は、維持規格 JSME S MAI-2008を適用し、mmはAと読み替える。
 (+1) 代替試験として内層CCTを含む検査
 (+2) 代替試験については第22回以降で内層CCTを実施予定

検査間隔延長プログラム

検査間隔延長プログラム		高浜発電所第4号機検査計画(10年間)													備考									
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	検出数	検査方法	検査の範囲及び程度	2005年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
F1.10	F-A	支持構造物																						
		CVC5冷却ライン バルブ	VT-3	25%	6	VT-3	25%	2		A1				B1										
		抽出・冷却抽出及びドレンライン A、B、Cバルブ	VT-3	25%	29	VT-3	25%	8		A1	B1			A1 C2							B1	C2		
		1次冷却ポンプ排水注入ライン A、B、Cバルブ	VT-3	25%	19	VT-3	25%	5		A1	B1			A1							B1	C1		
		SIS蓄圧注入ライン A、B、Cバルブ	VT-3	25%	32	VT-3	25%	8		A1	B1			A1 B1							B1	C2		
		SIS高圧側低圧注入ライン A、Bバルブ	VT-3	25%	18	VT-3	25%	5		A1	B1			A1							A1	B1		
		SIS低圧側低圧注入ライン A、B、Cバルブ	VT-3	25%	29	VT-3	25%	8		A1	B1			C1	A1						A1	B1 C2		
		SIS高圧側補助注入ライン A、B、Cバルブ	VT-3	25%	23	VT-3	25%	6		A1	B1			C2							B1	C1		
		SIS低圧側補助注入ライン A、B、Cバルブ	VT-3	25%	15	VT-3	25%	4			A1			B1							C1	B1		
		SIS低圧側ほう噴注ライン A、B、Cバルブ	VT-3	25%	28	VT-3	25%	7		A1	B1			C1							A1 C1	B1 C1		

※1: 新規制基準施行が25年7月後は、維持規格 JSE S MA-2009を適用する。
 ※2: 別表文書「実用発電用炉子及びその附属機器に付ける取組を訂正した取組その他の取組」(令和元年6月5日原燃技発第100051号)の改正版(以下、電装制規N/A文書改正という。)の発行及び公開会合「原子炉圧力容器の劣化等の劣化に関する事業計画の見直し」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第10検査プログラムより維持規格 JSE S MA-2012/2010/2010を適用する。

検査間隔延長プログラム

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高圧送電所第4号機検査計画(10年間)										備考
								2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	
86.180	B-G-1	スタットボルト	目視	1台の25%	7.2	目視 (塗装時又は取外し時)	1台の25% 6	-	第17回	第18回	-	第19回 サイクル	第20回 サイクル	第21回 サイクル	第22回 サイクル	第23回 サイクル	(重大事故等クラス2機器)	
86.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1 (濡払い時又は取外し時)	1台の25% 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)	
86.200	B-G-1	ナット	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1 (濡払い時又は取外し時)	1台の25% 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
812.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	1	3	VT-3 (濡払い時又は取外し時)	1台の25% 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
815.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)	
F1.41	F-A	支持構造物 (取付脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1台の25%	9	VT-3	1台の25% 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	

※1: 定期検査実施計画(10年間)を適用する
 ※2: 追加検査(定期検査前原子炉及びその附属施設における故障を引き起こす危険な状態)の新規発生率 JSE-S MAI-2012/2013/2014を適用する。
 中の(計画変更)を踏まえ、第23回検査サイクルより維持規格 JSE-S MAI-2012/2013/2014を適用する。

クラス2機器供用期間中検査

1. 余熱除去装置 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※2										備考
								2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%	第20係全サイクル	第21係全サイクル	第22係全サイクル	第23係全サイクル	第24係全サイクル	第25係全サイクル	第26係全サイクル		(重大事故等クラス2機器)		
C1.20	C-A	管側胴と管側胴との溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%	7.5%	A							(重大事故等クラス2機器)		
C2.21	C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	7.5%	4	UT PT	7.5%			A1 (入口)						(重大事故等クラス2機器)		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電業経新NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23係全サイクルより維持規格 JSIE S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2008年版のJA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

2. 配管 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※2					備考	
								2020年	2019年	2018年	2017年	2016年		2015年
05.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの)	体積又は表面	7.5%	69	PT	7.5% 6	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	(重大事故等クラス2機器)
								第23保全サイクル	第22保全サイクル	第21保全サイクル	第20保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
05.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径80A以上100A以下で公称肉厚9mmを超えるもの)	表面	7.5%	108	PT	7.5% 9	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	(重大事故等クラス2機器)
								共通1	C2	A1 B2			C1 共通2	
05.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手)	表面	7.5%	33	PT	7.5% 3	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	(重大事故等クラス2機器)
								1	1	1			1	
05.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手)	表面	7.5%	55	PT	7.5% 5	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	(重大事故等クラス2機器)
								C1	B1	A1			共通2	
05.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手)	表面	7.5%	35	PT	7.5% 3	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	(重大事故等クラス2機器)
									1	1			1	
05.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手)	表面	7.5%	18	PT	7.5% 2	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	(重大事故等クラス2機器)
										A1			B1	
05.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手)	表面	7.5%	9	PT	7.5% 1	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	(重大事故等クラス2機器)
								A1						
05.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手)	表面	7.5%	9	PT	7.5% 1	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	(重大事故等クラス2機器)
													B1	

※1: NRA文書「運用済原子力設備規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1」の改正版(以下「運用済原子力設備規格(2014年版)」)の施行及び公開会社(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の集約にかかる委員会(令和元年8月5日)の結集(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2008年版の(A-2310(2))を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

3. 余熱除去ポンプ (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※2										備考
			検査方法	検査の範囲及び程度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		
C6.10	C-6	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	第20保安サイクル	第21保安サイクル	第22保安サイクル	第23保安サイクル	-	第24保安サイクル	第25保安サイクル	-	-	第26保安サイクル	
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%		A1		A1	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の探検」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂探検NRA文書改正という。)の施行及び公開会社「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規則案件に関する事業者意見の聴取にかかる案台」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保安サイクルより維持稼働、JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2008年版の1A-2310(2)を適用し10カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

4. 弁 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※2							備考					
								2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2024年	2025年			
F1.43	F-A	支持構造物																		
		余熱除去ポンプ吸入ライン A、Bライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%													
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%													
		余熱除去ポンプ吸入ライン A、Bライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%													
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%													
		余熱除去ポンプ吸入ライン A、Bライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%													
		SIS低圧側低圧注入ライン A、Cライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%													
		SIS高温側補助注入ライン 4W-SI-082 4W-SI-101 4W-SI-301 4W-SI-303	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	8	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%													
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン 4W-SI-023A 4W-SI-023B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%													

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電致その他の欠陥の精査」（令和元年6月5日原規技第1906051号）の改正版（以下、電致精査NRA文書改正という。）の施行及び公開委令「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかわる委令」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSNE S MA1-2012/2013/2014を適用する。

※2：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査 (1/7)

項目番号		カテゴリー	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年) ※2										備 考 (漏えい区分)
								2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		
								第20保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	—	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	—	第26保全 サイクル		
			化学体積制御系統															
C7.10	C7.30	C-H	体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	0.11	0.11	VT-2							○	—		※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-1)	
C7.30	C7.50	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2		○								(3-3)	
C7.10	C7.30	C-H	抽出ライン(1)	VT-2	15.41	15.41	VT-2		○								(3-5)	
C7.30	C7.70	C-H	抽出ライン(2)	VT-2	2.16	2.16	VT-2		○								(3-6)	
C7.10	C7.30	C-H	体積制御タンク入ロライン	VT-2	0.19	0.19	VT-2		○								(3-8)	
C7.30	C7.50	C-H	ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2		○								(3-9)	
C7.10	C7.30	C-H	ほう酸ポンプ出口ロライン	VT-2	0.71	0.71	VT-2							○			(3-10)	

※1: NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を可容認とする亀裂その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原研技発第190051号)の改正版(以下「亀裂検出NRA文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新制規定に関する事業者意見の聴取にかゝる会合」(令和元年8月5日)の経緯(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査期間を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査期間は9ヵ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査 (2/7)

項目番号		カテゴリー		高浜発電所第4号機検査計画(10か年)※2												備考 (漏えい区分)	
		実用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年 第20回保全 サイクル	2018年 第21回保全 サイクル	2019年 第22回保全 サイクル	2020年 第23回保全 サイクル	2021年 -	2022年 第24回保全 サイクル	2023年 第25回保全 サイクル	2024年 -	2025年 第26回保全 サイクル	
		余熱除去系統															
C-H	C7.30 C7.50 C7.70	A-余熱除去ポンプ入ロライン		VT-2	2.75	2.75	VT-2							○			(3-11)
		B-余熱除去ポンプ入ロライン		VT-2	2.75	2.75	VT-2				○						(3-12)
C-H	C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	B-余熱除去ポンプ出ロライン		VT-2	3.56	3.56	VT-2			○							(3-14)
		燃料取替用水系統															
C-H	C7.30 C7.70	燃料取替用水タンク出ロライン		VT-2	大気圧	水張り	VT-2			○							(3-15)
		燃料取替用水タンク原子炉キャビティ連絡ライン(PEN#222)		VT-2	0.14	0.14	VT-2			○							(3-41)
		安全注入系統															
C-H	C7.10 C7.30 C7.70	蓄圧タンク及び出入ロライン		VT-2	4.22	4.22	VT-2			○							※1一部又は全部を気圧により検査 (3-16)
		ほう酸注入タンク及び出入ロライン		VT-2	8.00	8.00	VT-2			○							(3-17)
		蓄圧タンク注入ライン(PEN#216)		VT-2	4.40	4.40	VT-2									○	(3-43)
C-H	C7.30 C7.70	蓄圧タンクテストライン(PEN#227)		VT-2	6.90	6.90	VT-2									○	(3-44)
		充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)		VT-2	8.00	8.00	VT-2			○							(3-19)

※1: MRN文書「実用原子力炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電磁その他の火限の解除」(令和元年6月5日原研技発第1900051号)の改正版(以下、電磁解除MRN文書改正という。)の施行及び公開命令「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる命令」(令和元年8月5日)の経緯(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23回保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

※2: 前検査間隔を維持規格2008年版の1A-2310(2)を適用し11か年としたため、本検査間隔は9か年としている。

5. クラス2機器漏えい検査(3/7)

項目番号		カテゴリー		高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年) ※2												備 考 (漏えい区分)		
		発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1		漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年 第20保全 サイクル	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル	2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年	2025年 第26保全 サイクル	
				安全注入系統														
C7.30 C7.70	C-H			充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(4)	VT-2	8.00	8.00	VT-2		○								(3-21)
				格納容器再循環サンプ出口ロライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2							○			(3-22)
				格納容器スプレイ系統														
C7.10 C7.30 C7.70	C-H			よう薬除去薬品タンク及び出入ロライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2		○								※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-23)
C7.30 C7.70	C-H			よう薬除去薬品タンク出口ロライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2			○							(3-88)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H			A-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2										(3-24)
				B-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2										(3-25)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H			A-格納容器スプレイポンプ出口ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2										(3-26)
				B-格納容器スプレイポンプ出口ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2										(3-27)
C7.30 C7.70	C-H			格納容器スプレイポンプ出口ロライン	VT-2	1.64	1.64	VT-2			○							(3-28)
				格納容器再循環サンプ出口ロライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2				○						(3-29)

※1: 原子力発電所「運用発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008」の改正版(以下「最新規格」)を適用し、(令和元年6月5日原規技発第100051号)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の議決案(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前後年度間を維持規格2008年版のIR-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査期間は9ヵ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査(4/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10ヶ年) ※2										備 考 (漏えい区分)				
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年 第20保全 サイクル	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル	2020年 第23保全 サイクル	2021年 -		2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年 -	2025年 第26保全 サイクル
		主給水系統														
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2			○							(3-30)
		主蒸気系統														
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器出ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2			○							(3-33)
		1次系補給水系統														
C7.30 C7.70	C-H	加圧器逃がしタンクPMW供給ライン(PEN#279)	VT-2	0.80	0.80	VT-2				○						(3-38)
		1次系補給水ライン(PEN#268)	VT-2	0.60	0.60	VT-2										(3-56)
		廃棄物処理系統														
C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク薬液充てんライン(PEN#218)	VT-2	4.40	4.40	VT-2				○						※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-42)
		格納容器冷却剤ポンプ出ロライン(PEN#225)	VT-2	0.70	0.70	VT-2				○						(3-86)
		格納容器サンプポンプ出ロライン(PEN#234)	VT-2	0.15	0.15	VT-2			○							(3-87)

※1: NIA文書「発電用原子力設備規格及びその附属施設における設備を引継ぎする際の取組にかかわる命令」(令和元年8月5日)の結尾(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2008年版のIt-2310(2)を適用し11ヶ年としたため、本検査間隔は9ヶ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査(5/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MAI-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※2										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年 第20回全 サイクル	2018年 第21回全 サイクル	2019年 第22回全 サイクル	2020年 第23回全 サイクル	2021年 -		2022年 第24回全 サイクル	2023年 第25回全 サイクル	2024年 -	2025年 第26回全 サイクル	
		蒸気発生器プロローダウン系統															
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器プロローダウンライン(PEN#319)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		○		-				-		(3-45-1)	
		B-蒸気発生器プロローダウンライン(PEN#318)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		○		-				-		(3-45-2)	
		C-蒸気発生器プロローダウンライン(PEN#317)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		○		-				-		(3-45-3)	
		試料採取系統															
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器プロローダウンサンブルライン(PEN#259L)	VT-2	4.80	4.80	VT-2				-				-	○	(3-46-1)	
		B-蒸気発生器プロローダウンサンブルライン(PEN#259M)	VT-2	4.80	4.80	VT-2				-				-	○	(3-46-2)	
		C-蒸気発生器プロローダウンサンブルライン(PEN#259R)	VT-2	4.80	4.80	VT-2				-				-	○	(3-46-3)	
		加圧器気相部サンブルライン(PEN#231R)	VT-2	15.41	15.41	VT-2				-			○		-		(3-67)
		加圧器液相部・ブループ高温側サンブルライン(PEN#231M)	VT-2	15.41	15.41	VT-2				-			○		-		(3-68)
		Aループ高温側サンブルライン(PEN#235)	VT-2	15.41	15.41	VT-2				-			○			(3-69)	
		蓄圧タンクサンブルライン(PEN#231L)	VT-2	4.40	4.40	VT-2				-			○			(3-70)	

※1: NVA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原研発表1902051号)の改正版(以下、電裂検察NVA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新検察要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23回全サイクルより維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査期間を維持規格2008年版の1A-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査期間は9ヵ年としている。

5. クラウド機器漏えい検査(ア77)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※2						備考 (漏えい区分)
							2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
C730 C770	C-H	制御用空気ライン(PEN#260)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-79)
							第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	
							2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	
							第22保安 サイクル	第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル		
							第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル	第17保安 サイクル		
C730 C770	C-H	制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)(PEN#262)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-80)
							第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	
							2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	
							第22保安 サイクル	第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル		
							第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル	第17保安 サイクル		
C730 C770	C-H	制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)(PEN#284)	VT-2	0.68	0.68	VT-2	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-81)
							第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	
							2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	
							第22保安 サイクル	第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル		
							第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル	第17保安 サイクル		
C730 C770	C-H	所内用空気供給ライン(PEN#265)	VT-2	0.71	0.71	VT-2	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-82)
							第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	
							2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	
							第22保安 サイクル	第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル		
							第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル	第17保安 サイクル		
C730 C770	C-H	消火水系統	VT-2	1.30	1.30	VT-2	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	(3-83)
							第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	
							2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	
							第22保安 サイクル	第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル		
							第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル	第17保安 サイクル		
C730 C770	C-H	CO2消火ライン(PEN#316)	VT-2	4.40	4.40	VT-2	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-91)
							第23保安 サイクル	-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	
							2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	
							第22保安 サイクル	第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル		
							第21保安 サイクル	第20保安 サイクル	第19保安 サイクル	第18保安 サイクル	第17保安 サイクル		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす事象その他の次臨の解説」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、電設発新NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

検査間隔延長プログラム

2. 弁 (1/1)		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)													備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年		2016年	2017年	2018年	2019年
F1.43	F-A	支持構造物 SIS高温側低圧注入ライン 4V-SI-004 4V-SI-002 SIS低温側補助注入ライン 4V-SI-002A 4V-SI-002B SIS低温側ほう酸注入ライン 4V-SI-002A 4V-SI-002B	VT-3 VT-3 VT-3 VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5%	-	第17回	第18回	-	第19回 サイクル	4V-SI-004 4V-SI-002A 						第21回 サイクル	第22回 サイクル	第23回 サイクル	

※1：新規制基準施行（H25年7月）後は、維持規格「JSME SNAI-2008」を適用する。
 ※2：NNA文書「実用発電用原子炉及びその他の炉内設備における検査を引き起こす電装その他の欠陥の排除」（令和元年6月5日原研技発第1000051号）の改正版（以下、亀裂検知用試薬の増設等の増設接点の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の取りかかるとの旨（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23回サイクルより維持規格「JSME SNAI-2012/2013/2014」を適用する。

検査間隔延長プログラム

3. クラス2機器漏えい検査(1/2)		高圧発電所第4号機検査計画(10カ年)														備考 (漏えい区分)									
項目番号	カテゴリ	検査方法	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年			
												第19回 サイクル				第20回 サイクル						第21回 サイクル	第22回 サイクル	第23回 サイクル	
			化学体積制御系統																						
G7.10 G7.30 G7.50 G7.70	G-H	VT-2	A-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2	-																	
G7.30 G7.50 G7.70	G-H	VT-2	C-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2	-																	
G7.30 G7.70	G-H	VT-2	抽出ライン(3)	VT-2	0.40	0.40	VT-2	-																	
			新水戻りライン(PEN#217)	VT-2	0.10	0.10	VT-2	-																	
			余熱除去系統																						
G7.10 G7.30 G7.50 G7.70	G-H	VT-2	A-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2	-																	
			安全注入系統																						
G7.30 G7.70	G-H	VT-2	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(1)	VT-2	8.00	8.00	VT-2	-																	

※1 新規制準拠移行(H25年7月)後は、維持規格-JSME S MAI-2008を適用する。
 ※2 NRA文書「費用発電用原子炉及びその附属施設における設備を引き起こす過剰その他の欠陥の発見」(令和元年6月5日原簿検査第1906051号)の改正版(以下、福島原発NRA文書改正という。)の施行及び公開適合「(原子炉圧力容器の溶接接合の試験程度等)新規制案件に関する事業者意見の照会にかかる会
 合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

検査間隔延長プログラム

3. クラスタ機器漏えい検査 (2/2)		高浜発電所 第4号機 検査計画 (10カ年)														備考 (漏えい区分)							
発電用原子力設備規格 (2002年版訂版) JSME S MA1-2002※1 ※2																							
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		
G7.30 G7.70	C-H	安全注入系統		8.00	8.00	VT-2	-	第7回	第10回	-	第19回 サイクル									第21回 サイクル	第22回 サイクル	第23回 サイクル	
G7.10 G7.30 G7.70	C-H	B-蒸気発生機給水入ロライン C-蒸気発生機給水入ロライン	VT-2 VT-2	5.30 5.30	5.30 5.30	VT-2 VT-2	-			-		○											
G7.30 G7.70	C-H	B-蒸気発生機出口ロライン C-蒸気発生機出口ロライン	VT-2 VT-2	5.30 5.30	5.30 5.30	VT-2 VT-2	-			-		○		○									

※1 新規制運転(平成25年7月)後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用する。
 ※2 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における検査を引き起こす電気その他の機器の他の種類の検査」(令和元年6月5日原研技発第1900051号)の改正版(以下、電気新NRA文書改正という。)の施行及び公開(以下、(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の取りかかるとの旨) (令和元年8月5日)の経歴(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23回サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

クラス3機器供用期間中検査

1. 余熱除去冷却器(同側) (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考	
								2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5% 1	4	VT-3 ※2	1基の7.5% 1	第20保全サイクル					第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5% 1	4	VT-3	1基の7.5% 1	A1											

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開台「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

2. 格納容器スプレッド冷却器 (同側) (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考	
								2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5% 1	4	VT-3 ※2	1基の7.5% 1	第20保全サイクル					第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5% 1	4	VT-3	1基の7.5% 1						A1	A1					

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開台「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。
 ※2: 第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

3. 原子炉補機冷却水冷却器 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考	
								2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5%	8	VT-3 ※2	1基の7.5% 1	第20保全サイクル					第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	8	VT-3	1基の7.5% 1						A1	A1		-			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSMIE S NAI-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。
 ※2: 第23保全サイクルより維持維持 JSMIE S NAI-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

4. 非常用ディーゼル発電機冷却水冷却器 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考	
								2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		
D1.10	D-A	胴と補強板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5%	4	VT-3 ※2	1基の7.5% 1	第20保全サイクル					第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% 1						A1	A1		-			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSMIE S NAI-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。
 ※2: 第23保全サイクルより維持維持 JSMIE S NAI-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

5. 非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器 (1/1)

項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考
								2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
D1.10	D-A	胴と補強板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5% 1	4	VT-3 ※2	1基の7.5% 1	第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1基の7.5% 1	4	VT-3	1基の7.5% 1								-	A1	A1	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1908051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

6. 配管 (1/1)

項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考
								2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
D1.20	D-A	配管の支持部材取付け溶接継手 原子炉補機冷却水系統 原子炉補機冷却海水系統	VT-3 ※2 VT-3 ※2	7.5% 6 7.5% 3	76 30	VT-3 ※2 VT-3 ※2	7.5% 6 7.5% 3	第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
F1.31	F-A	支持構造物 原子炉補機冷却水系統 原子炉補機冷却海水系統	VT-3 VT-3	7.5% 7.5% 19	430 251	VT-3 VT-3	7.5% 33 7.5% 19		5	5	9	4			-	10	6	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1908051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

7.原子炉補機冷却水ポンプ (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考		
								2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	1台の7.5%	20	VT-3	1台の7.5% 1			第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSMIE S NAI-2012/2013/2014を適用する。

8. 弁 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考			
								2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年				
F1.31	F-A	支持構造物								第20保全サイクル				第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル		
		原子炉補機冷却水系統												4TCV-2342A 2342A 1							
		4TCV-2342A	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5% 1														
		4TCV-2342B 4TCV-2342C 4TCV-2342D																			
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5% 1											4V-CC-043 043 1			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSMIE S NAI-2012/2013/2014を適用する。

検査間隔延長プログラム

蒸気発生器

項目 番号	カテゴリー	NISA 文書※1※2																備考			
		高圧発電所第4号機検査計画 (10カ年)																			
	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
—	呼び径100mm以上の管台とセーフエントの溶接継手 ※1	BMV	100%	0	BMV	100%	—	—	—	—	第19保全会 サイクル				第20保全 サイクル				第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル
						0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	入口管台			0		100%	—	C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	出口管台			0		100%	—	C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1：平成26年8月6日以降は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技参第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))を適用する。また、「mm」は「A」と読み替える。
 ※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技参第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全会サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

原子炉格納容器供用期間中検査

1. 原子炉格納容器(1/1)

発電用原子炉設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)												備考					
		検査対象箇所	検査方法及び程度	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	
項目番号	E8.10	機器搬入口用ボルト締め付け部	VT-4	25%	72	VT-4	25% 18	第22保全サイクル	18	第23保全サイクル	—	第24保全サイクル	第25保全サイクル	—	第26保全サイクル	第27保全サイクル	第28保全サイクル	—	—

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)、の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉室壁 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画	
					検出	備考
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MI1-2003※1						
B1.102	B-A	下部筒の長手溶接継手	体積	可能範囲 各100%		
		上部筒と下部筒との周溶接継手	体積	5% ※2		
B2.111	B-B	下部筒とトランジヤコングとの周溶接継手	体積	5% ※2		
		トランジヤコングと下部筒との周溶接継手	体積	5% ※2		
B3.105	B-C	上部筒と上部筒フランジとの溶接継手	体積	可能範囲 各100%		
B3.10	B-D	冷却出入口管と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%		
		冷却出入口管と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%		
B3.20	B-D	冷却出入口管管内面の丸みの部分	体積	可能範囲 各100%		
		冷却出入口管管内面の丸みの部分	体積	可能範囲 各100%		
B5.10	B-F	冷却出入口管とサーフェントの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲 各100%		H23年、690系NI基金金に精修実施
		冷却出入口管とサーフェントの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲 各100%		H23年、690系NI基金金に精修実施
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%		
B6.30	B-G-1	スタットボルト	体積	100%		
B6.40	B-G-1	閉フランジネジ穴のネジ部	体積	100%		
B6.50	B-G-1	ワッシャー	VT-1	100%		
B7.10	B-G-2	マーヤマンカッピング	VT-1	25%		

※1: NRC文書「業務用原子炉及びその附属施設における稼働引揚記二重壁その他の炉壁」(令和元年6月5日原簿改訂第150605号)の改正版(以下、電製所NRC文書改正という。)の発行及び公開適合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験報告等) 新規制要件に關する事業審議会の議決にかゝる告示」(令和元年8月5日)の結果
 ※2: 第3次緊急メンテナンス記録簿 JSME S MI1-2012/2013/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と読み替える。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器(2/2)

発電用原子炉設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1		高圧発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時相別※3
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%
		下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%
G1.50	G-P-2	炉心内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%
		上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%
B14.10	B-P	制御棒駆動ハウジングの溶接継手(上部)	体積又は表面	是外側の2.5%
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手(下部)	体積又は表面	是外側の2.5%
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲100%
F1.41	F-A	支持構造物(サブポート、サブポート、サブポート)	VT-3	2.5%

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: 1984年版「発電用原子炉設備規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008」の改訂版(以下、電装部規程第1906(訂号)の改訂版(以下、電装部規程第1906(訂号)の改訂版)の発行及び公開会社「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験規程等) 新規制条件に関する事業者意思の範囲にかかる会社」(令和元年6月5日)の規程(2019年度中の計画年度)を指す。第23号安全サイトより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 第23号安全サイトより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の7.5%」を「各検査時相別」と読み替える。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器 (1/1.1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1		高圧発電機 第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法 検査の範囲 及び程度	
B2.11	B-B	上部筒と上部筒継手の溶接手 下部筒と下部筒継手の溶接手	体積 5% 5%	
B2.12	B-B	上部筒の長手継手 下部筒の長手継手	体積 各10% 各10%	
B2.13	B-B	上部筒と下部筒との溶接手	体積 5%	
B3.30	B-D	管台と管台との溶接継手	体積 25%	
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分 (管台とセーフティの溶接継手 呼び径100以上)	体積 25%	
B5.40	B-F	加圧器溢流弁管台 加圧器安全弁管台 加圧器スフレイ管台 加圧器サージ管台	体積及び 表面 25%	H22年、600系NI 基準値に検査実施
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	V T-1 25%	
B8.20	B-H	支持材の溶接への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面 7.5%	
B15.20	B-F	圧力保持範囲	V T-2 可能範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎ボルト)	V T-3 25%	

クラス1 機器供用期間中検査で管理

※1: NRC文書「商用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引起こす高圧その他の欠陥の発生」(令和元年6月5日原研技発第1900051号)の改正版(以下、電設無形部NA文書改正という。)の発行及び公開適合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規格適用に関する事業者意見の聴取にかかる報告」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第6検査サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

3. 蒸気発生器 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び検査範囲	
B2.40	B-B	管束と水室壁との溶接継手	体積	
B3.60	B-D	冷却材入口管束の肉面の丸み部分、冷却材出口管束の肉面の丸み部分	体積	
B5.70	B-F	冷却材入口管束とセーフティメントの溶接継手、冷却材出口管束とセーフティメントの溶接継手(呼び径100以上)	体積及び表面	
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	VT-1	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベアスプレット、基礎ボルト)	VT-3	

クラス1 機器供用期間中検査で管理

※1: 1994文書「商用発電用原子炉及びその附属施設における放射線モニタリングシステムに関する規定(以下、電気技術基準190045号)」の改正版(以下、電気技術基準190045号)の発行及び公開(原子炉圧力容器の溶接継手の取扱いに関する事業者意見の取扱いにかかる命令)(令和元年8月5日)の経典(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第2版をサイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）
4. 配管（1/4.1）

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008S1		高圧発電所第4号機検査計画		備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	
B9.11	B-J	配管の同等金属溶接継手 (呼び径100A以上)			
		1次冷却材管 (27.5MID, 838.00mm, 29MID, 31MID) A. B. Cグループ	体積	2.5%	
		加圧器ケーシング (148, 355, 60mm)	体積	2.5%	
		加圧器安全ライン (6B) A. B. Cライン	体積	2.5%	
		加圧器注がいライン (6B)	体積	2.5%	
		糸鋸除去ポンプ入ライン (12B) B. Cグループ	体積	2.5%	
		S1.5 配管注がいライン (12B, 314, 50mm) A. B. Cグループ	体積	2.5%	
		S1.6 配管注がいライン (6B) A. B. Cグループ	体積	2.5%	
		配管の同等金属溶接継手 (呼び径100A未満)			
		加圧器注がいライン (3B)	表面	2.5%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文庫「原子力発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす事象その他の欠陥の解説」(令和元年6月6日原研技発第1900051号)の改正版(以下、電設規格NRA文庫改訂版)の発行及び公開(「原子炉圧力容器の劣化率の監視履歴等」新規制要件に附する事業者等の取組にかかるとする) (令和元年6月5日)の
結果(2019年度中の計画年度)を踏まえ、第4号機をサイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器共用期間中検査計画 (クラス1 機器共用期間中検査範囲)
4. 配管 (4/4)

発電用原子力設備規格 (維持規格(2008年改訂版) JSME S MW-2008※1)		高圧発電所 第4号機検査計画		備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度		
F1.10	F-A	支持構造物		クラス1 維持共用期間中検査で管理	
		CVクラフトライン Bグループ	VT-3		25%
		SIS補注圧入ライン A, B, Cグループ	VT-3		25%
		SIS絶縁制御圧入ライン A, B, Cグループ	VT-3		25%
		SIS絶縁制御圧入ライン A, B, Cグループ	VT-3		25%

※1: IWA文書「発電用原子力設備規格(その附属施設)における検査を引継ぎし継ぎこぎ継ぎその他の実施」(令和元年6月5日原研規発第190051号)の改正版(以下、「電装保研規以文書改正という。’)の発行及び公開を含む「原子炉圧力容器の清掃等の試験程度等」新規調査項目に関する事業者意見の聴取にかかるとの検査(2019年度中)の計画(注)を指す。第26検査サイクルより維持規格 JSME S MW-2017/2019/2024を適用する。

重大事故等クラス2・3機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)
6. 非(1.1.2.)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	備考
87.70	B-g-2	発電機定子カ検調規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008※1			
		圧力差検出ボルト締め付け部 (直径50mm以下)			
		加圧器安全弁ライン A. B. Cライン	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	
		加圧器過かし弁ライン	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	
		CVCスワッチライン Bグループ	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	
		蒸気発生サブドロライン B. Cグループ	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	
		蒸気発生サブドロライン B. Cグループ	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	
		SIS蒸気発生ライン A. B. Cグループ	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	
		SIS蒸気発生ライン A. B. Cグループ	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	
		SIS蒸気発生ライン A. B. Cグループ	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	
		SIS蒸気発生ライン A. B. Cグループ	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	
		SIS蒸気発生ライン A. B. Cグループ	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	
		SIS蒸気発生ライン A. B. Cグループ	VT-1	検出弁ごとに 1台の25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: JIS規格「発電機用ボルト及びその付属品」(2008年改訂版) JSME S MAI-2008(以下、電装検査規格外文書改正という。)の発行及び公開適合「原子炉圧力容器の試験種別等」新編制条件に関する事業者審査の施設にかかる適合(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を指す。また、蒸気発生サブドロラインより維持規格 JSME S MAI-2012/2017/2019を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)
6. 庄(12/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び種別	備考
B1570	B-M-2	弁本体の内表面			
		加圧器安全弁ライン A. B. Cライン	VT-3	検出非ごとに1	
		糸鋸除去ポンプ吸入ライン B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1	
		糸鋸除去ポンプ吸入ライン B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1	
		糸鋸除去ポンプ吸入ライン B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1	
		SIS高圧注入ライン A. B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1	
		SIS低圧注入ライン A. B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1	
		SIS低圧注入ライン A. B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1	
		加圧器安全弁ライン A. B. Cライン	VT-3	検出非ごとに1	
		糸鋸除去ポンプ吸入ライン B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1	
B1570	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	
		支持構造物			
F141	F-A	加圧器安全弁ライン A. B. Cライン	VT-3	検出非ごとに1台の25%	
		加圧器安全弁ライン A. B. Cライン	VT-3	検出非ごとに1台の25%	
		加圧器安全弁ライン A. B. Cライン	VT-3	検出非ごとに1台の25%	
		SIS高圧注入ライン A. B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1台の25%	
		SIS低圧注入ライン A. B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1台の25%	
		糸鋸除去ポンプ吸入ライン B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1台の25%	
		糸鋸除去ポンプ吸入ライン B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1台の25%	
		糸鋸除去ポンプ吸入ライン B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1台の25%	
		加圧器安全弁ライン A. B. Cライン	VT-3	検出非ごとに1台の25%	
		糸鋸除去ポンプ吸入ライン B. Cグループ	VT-3	検出非ごとに1台の25%	

高圧発電所第4号機検査計画

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: 1984年(運用管理用原子炉及びその附属施設)における検査引き継ぎ工事概要その他の文脈の参照。(令和元年6月5日原研経発第100051号)の改正版(以下、電装部制図文書改正という。)の発行及び公開を含む「(原子炉圧力容器の汚染検査の試験精度等、新規制条件に因する検査手続の変更等、新規制条件に因する検査手続の変更) (令和元年6月5日)の」

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器Ni基金使用部位特別検査範囲)

原子炉容器

NRA文書※1, ※2		高圧発電所第1号機検査計画		備考
番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
—	—	600系Ni基金企業の上蓋及び底部表面(600系Ni基金企業 の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり350°を含む。)	検査方法及び程度	クラス1機器Ni基金使用部位特別検査で管理
—	—	底部表面(計測用管台)	BMV	

※1: 「実用炉用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(附則検査第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

※2: NRA文書「実用炉用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技審第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)、の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査範囲)

NRA文書※1, ※2 高圧発電所第4号機検査計画				備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度		
—	—	配管の耐圧部分の溶接継手		クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査で管理	
		充てんライン(3B)	体積		25%
		再生熱交換器連絡管(3B)	体積		25%

※1: 「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1108063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))
 ※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)、の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1. 格納容器スプレッドシート(1/1)

検査用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高圧発電所 第4号機 検査計画 (10年間)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
C1.10	C-A	管制閥と管制フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%		第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	-
C1.20	C-A	管制鏡と管制閥との周溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%							A	7.5%			

※1: WRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破壊その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電裂参照)文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる報告」(令和元年6月5日)の結果(2019年度中の計画監査)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2017/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

2. 余数除去弁超規管理 (1/1)

検査用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所 第4号機 検査計画		備考
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	
C1.10	C-A 管朝開と管朝閉ランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
C1.20	C-A 管朝開と管朝閉との溶接継手	体積	1基の7.5%	
C2.21	C-B 管朝入口管点及び管朝出口管点と管朝閉との溶接継手	体積及び表面	7.5%	

※1: NRA文書「実用新電力原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす破断その他の解家」(令和元年6月5日原研技発第1806051号)の改正版(以下、電験新NRA文書改正という。)の施行及び公開適合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験制度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる適合」(令和元年8月5日)の解家(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23条全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10ヶ年)										備 考								
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2016年	2016年	2017年	2018年		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手																		
		格納容器再循環サンプ出口ライン(355.60mm) Aライン (格納容器スプレイ系統)	表面	7.5%	2	PT	7.5% 1						A1							
C5.11	C-F	配管の折圧部分の溶接継手(呼び径100 Aを超え且外径肉厚9.5mmを超えるもの)																		
		格納容器再循環サンプ出口ライン(148.355.60mm) Aライン (格納容器スプレイ系統)	体積又は表面	7.5%	6	PT	7.5% 0													
F1.21	F-A	格納容器スプレイポンプ吸入ライン(148.355.60mm) A、Bライン	体積又は表面	7.5%	25	PT	7.5% 2					A1			B1					
		支持構造物																		
		SIS高温制御低圧注入ライン Aライン	VT-3	7.5%	3	VT-3	7.5% 1						A1							
		充てん/高圧注入ポンプ吸入ライン	VT-3	7.5%	22	VT-3	7.5% 2					1				1				
		原子炉補機冷却水ポンプ出入ライン	VT-3	7.5%	112	VT-3	7.5% 9					3				3				
		格納容器再循環サンプ出口ライン Aライン (格納容器スプレイ系統)	VT-3	7.5%	1	VT-3	7.5% 1									A1				
		格納容器スプレイポンプ吸入ライン Aライン	VT-3	7.5%	7	VT-3	7.5% 1									A1				
		格納容器スプレイポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	7.5%	10	VT-3	7.5% 1										A1			
		格納容器スプレイ冷却器出口ライン A、Bライン	VT-3	7.5%	18	VT-3	7.5% 2											B1		
		格納容器スプレイ系統系断線除去系統連絡ライン	VT-3	7.5%	10	VT-3	7.5% 1													
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	23	VT-3	7.5% 2											1		
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	2	VT-3	7.5% 1												1	
		アニュラス空気浄化ライン	VT-3	7.5%	59	VT-3	7.5% 5													A2

※1: NPA文書「発電用原子炉及びその附属機器における破壊を引き起こす亀裂その相の形態の監視(令和元年6月5日届出技術基準1906051号)の改正版(以下、亀裂検出技術基準改正という。)の施行及び公開会合(「原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
3. 配管 (2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手		
		余熱除去ポンプ入ロライン (318, 50mm, 355, 60mm) A, Bライン	表面	7.5%
		余熱除去ポンプ出口ロライン (267, 40mm) A, Bライン	表面	7.5%
		S1S低圧側低圧注ライン (165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	表面	7.5%
		S1S低圧側高圧注ライン (60, 50mm, 89, 10mm) A, B, 共通ライン	表面	7.5%
		充てん/高圧注ポンプ入ロライン (216, 30mm)	表面	7.5%
		充てん/高圧注ポンプ出口ロライン (89, 10mm, 114, 30mm)	表面	7.5%
		1次冷却材管低圧側高圧注ライン ほう酸注入タンク出口側 (89, 10mm)	表面	7.5%
		格納容器再循環サンプ出口ロライン (355, 60mm) A, Bライン (余熱除去系統)	表面	7.5%
		配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径100Aを超える公称肉厚9.5mmを超えるもの)		
C5.11	C-F	余熱除去ポンプ入ロライン (128, 148, 318, 30mm, 355, 60mm) A, Bライン	体積又は表面	7.5%
		S1S低圧側低圧注ライン (68, 108, 165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	体積及び表面	7.5%
		格納容器再循環サンプ出口ロライン (148, 355, 60mm) (余熱除去系統)	体積又は表面	7.5%

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を可及的に低減する措置(以下、亀裂発生基準1906051号)の改正版(以下、亀裂発生基準NRA文書改正という。)」の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新増設要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2014/2014/2014を採用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
3. 配管 (3/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高圧発電所第4号機検査計画	備考
05.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手（呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを超えるもの）			クラス2機器供用期間中検査で管理	
		SIS低圧制御ほう酸注入ライン (2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%		
05.30	C-F	充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (3B, 4B, 89, 10mm)	表面	7.5%		
		配管の耐圧部分の溶接継手（ソケット溶接継手）				
F1.21	F-A	SIS低圧制御ほう酸注入ライン (2B) A, B, Cライン	表面	7.5%		
		支持構造物				
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ入口ライン A, Bライン	VT-3	7.5%		
		余熱除去ポンプ出口ライン A, Bライン	VT-3	7.5%		
		SIS低圧制御低圧注入ライン A, B, Cライン	VT-3	7.5%		
		SIS低圧制御ほう酸注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%		
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%		
		格納容器再循環ポンプ出口ライン A, Bライン（余熱除去系統）	VT-3	7.5%		

※1: NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を可及的に低減する取組（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）」を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S-NAI-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: NRA文書「重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（令和元年6月5日原研技発第1906051号）の改正版（以下、集約型NRA文書改正という。）の施行及び公開会合（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新規則要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）」を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S-NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
4. 格納容器スプレッドシート(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10ヶ年)										備考
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	4	P T	1台の7.5% 1	第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	-	-	-	-	-
F1.43	F-A	ポンプの台座脚	V T-3	1台の7.5%	4	V T-3	1台の7.5% 1											

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における設備を可登記とする格納容器の構造に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSIE S MA1-2012/2013/2014を適用する。
※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における設備を可登記とする格納容器の構造に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年6月5日)の最終版(以下、最終版NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSIE S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
5. 蒸気発生ポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSIE S MA1-2008※1		高浜発電所 第4号 機械検査計画		備考
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	
F1.43	ポンプの台座脚	V T-3	1台の7.5%	

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を可成起こす亀裂その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日厚労省発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSIE S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

6. 原子炉種別: 炉心ポンプ (C1/F1)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高圧発電所第4号機検査計画(10ヶ年)										備考
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
F1.43	F-A	ポンプの台基脚	V T - 3	1台の7.5%	1 2	V T - 3	1台の7.5% 1	第20係全 サイクル	第21係全 サイクル	第22係全 サイクル	第23係全 サイクル	-	第24係全 サイクル	第25係全 サイクル	-	-	対象はA、B、C原子炉補機冷却水ポンプ	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を可及的に防止する措置(2019年8月5日)」の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23係全サイクルより維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。
等) 新設制条件に関する事業者意見の聴取にかかるとする。)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
 7. 担託代替型圧入ボンプ (10/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高圧発電所第4号機械検査計画(10ヶ年)										備考	
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	V T - 3	1台の7.5%	2	V T - 3	1台の1.5%		第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	-	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における磁場を引越す電磁誘起試験(以下、電磁誘起試験1906051号)の改正版(以下、電磁誘起試験文書改正という。)の施行及び公開委員会(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新設制要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの委員会」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
8. 年 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10ヶ年)										備考
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
F1.43	F-A	原子炉補給冷却ポンプ出入口ライオン 4V-1CV-2342A 4V-1CV-2342B 格納容器スプレイス統余熱除去系統 連絡ライン 4V-RH-100 4V-RH-101	VT-3 VT-3	類似事故ごとに1台の7.5% 類似事故ごとに1台の7.5%	2 2	VT-3 VT-3	類似事故ごとに1台の7.5% 類似事故ごとに1台の7.5%	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第20検全サイクル	第20検全サイクル	第21検全サイクル	第21検全サイクル	第22検全サイクル	第23検全サイクル	-	第24検全サイクル	第25検全サイクル	-	

※1: MFA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破壊その他の火種の解説」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電設解説MFA文書改正という。)の施行及び公開命令「(原子炉圧力容器の落接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる命令」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23検全サイクルより維持規格 JSNE S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
8. 弁 (2/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高圧発電所第4号機検査計画	備考
F1.43	F-A	支持構造物			クラス2機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ入口ライン A. Bライン 4V-RH-041A 4V-RH-041B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%		
		余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン 4V-RH-024A 4V-RH-024B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%		
		余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン 4PCV-601 4PCV-611	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%		
		余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン 4HCV-603 4HCV-613	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%		
		余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン 4FCV-604 4FCV-614	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%		
		SIS低圧制御低圧注入ライン A. Cライン 4V-S1-197A 4V-S1-197B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%		
		SIS低圧制御ほう露注入ライン A. Bライン 4V-S1-042A 4V-S1-042B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%		
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン 4V-S1-023A 4V-S1-023B	VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5%		

※1: NRA文書「商用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす電線その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電線解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開命令「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる命令」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23年度サイクルより維持規格 JSNE S MAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

項目番号		カテゴリ	検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)								備考 (漏えい区分)		
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
			化学体積制御系統															
C7.30 C7.70	C-H		体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2											(SA-1)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		A-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○							(SA-2)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		B-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○							(SA-3)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		C-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○							(SA-4)
C7.30 C7.70	C-H		ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2				○							(SA-5)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		ほう酸ポンプ出口ロライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2									○		(SA-6)
C7.30 C7.70	C-H		B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注入ポンプ出口側)	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○							(SA-7)
C7.30 C7.70	C-H		B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注入ポンプ入口側)	VT-2	1.4	1.4	VT-2				○							(SA-8)

※1. NRA文書「新用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす機器その他の欠陥の解除」(令和元年6月5日原研技発第1905051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開合合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるまとめ」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23検査サイクルより維持規格 JSME S-NMI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
 シュラウス2機器通えい検査(2/24)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画(10年間)										備考 (備えい区分)															
項目 番号	カテゴリ	備えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		
							第20保安 サイクル	第21保安 サイクル	第22保安 サイクル	第23保安 サイクル	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	第28保安 サイクル	第29保安 サイクル	第30保安 サイクル	第31保安 サイクル	第32保安 サイクル	第33保安 サイクル	第34保安 サイクル	第35保安 サイクル	第36保安 サイクル	第37保安 サイクル	第38保安 サイクル	第39保安 サイクル	第40保安 サイクル
		余熱除去系統																									
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2																					
		B-余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2																					
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2																					(SA-9)
		B-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2																					(SA-10)
		燃料取替用水系統																									(SA-11)
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク出口ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																					(SA-12)
		安全注入系統																									(SA-13)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及びび出入ロライン	VT-2	4.9	4.9	VT-2																					(SA-14)
		ほう騰注入タンク及びび出入ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2																					(SA-15)
C7.30 C7.70	C-H	弁てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	17.16	17.16	VT-2																					(SA-16)
		格納容器再循環ポンプ出口ライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.1	4.1	VT-2																					(SA-17)

※1 - NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原簿規程第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈RRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新編制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第28保安サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
9. クラス2機器漏えい装置 (3/4)

検査用原子力設備規格 維持規格 (2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画 (10ヶ年)										備考 (漏えい区分)						
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20検全 サイクル				第21検全 サイクル	第22検全 サイクル	第23検全 サイクル	-	第24検全 サイクル	第25検全 サイクル		
		格納容器スプレイ系統																
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2												(SA-18)
		B-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2												(SA-19)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2												(SA-20)
		B-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2												(SA-21)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2												(SA-22)
		格納容器再循環ポンプ出ロライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	0.35	0.35	VT-2							○					(SA-23)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	圧設代替低圧注水ポンプ入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2												(SA-24)
		圧設代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2												(SA-25)
C7.30 C7.70	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2												(SA-26)
		換気空調装置系統																
C7.30 C7.70	C-H	A-ニュウラス空気浄化ライン	VT-2	0.01	0.01	VT-2							○					(SA-27)
		中央制御室換気空調設備入ロライン	VT-2	-0.00392	-	(*)1							○		○			(SA-56)
C7.30	C-H	中央制御室換気空調設備出ロライン	VT-2	0.00392	-	(*)1							○		○			(SA-57)

※1: NPA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における稼働その他の次の原簿(第1906051号)の改正版(以下、毎改訂版NPA文書改正という。)」の施行及び公開案(「原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等」新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23検全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 (*1) 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施
 (*2) 分割して外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
9. クラス2機器補えい装置 (4/4)

検査用原子力設備規格 維持規格 (2008年版) JSME S MA1-2008※1		高圧発電所第4号機検査計画 (10年間)										備考 (補えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	補えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
		原子炉補機冷却水系統															
C7.10 C7.50 C7.50 C7.70	C-H	A、B、C-原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン 原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン 原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2 VT-2 VT-2	0.98 0.98 0.98	0.98 0.98 0.98	VT-2 VT-2 VT-2							-				
C7.30 C7.70	C-H	B-冷却水/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(原子炉補機冷却水側) 空気系統	VT-2	0.98	0.98	VT-2						○	-				(SA-45)
		制御用空気加圧器遮がし弁用供給ライン(1) 制御用空気加圧器遮がし弁用供給ライン(2)	VT-2 VT-2	0.98 0.98	0.98 0.98	VT-2 VT-2						○	-				(SA-53) (SA-54)
		アニユラスタンバ作動用蓄積供給ライン 補助給水系統	VT-2	0.83	0.83	VT-2				○			-				(SA-55)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ出口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2					○		-				(SA-40)

※1 - NRA文書「重圧用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす機器の他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規特第1906051号)の改正版(以下、亀裂RRRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23検査サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1.0. 原子炉種機冷却水送器器脚側(1/1)

検査用原子炉設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高圧発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
C1.10	C-A	胴側脚と胴側フランジとの間溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%	第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	-	対象はA、B原子炉種機冷却水冷却器
C3.10	C-C	胴側脚の間溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%						A 7.5%	-			-	対象はA、B原子炉種機冷却水冷却器
F1.43	F-A	胴と当板との溶接継手	表面	1基の7.5%	4	PT	1基の7.5%					A1	-	-			-	対象はA、B原子炉種機冷却水冷却器
		支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5%					A1	-	-			-	対象はA、B原子炉種機冷却水冷却器

※1 - NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を可及的に防止するための検査計画(変更)」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格「JSME S MA1-2012/2013/2014」を適用する。
 ※2 - NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を可及的に防止するための検査計画(変更)」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格「JSME S MA1-2012/2013/2014」を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

項目番号	カテゴリ	検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高圧発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
							2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年						
		主給水系統																				
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	Aー蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2															(SA-28)	
		Bー蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2																(SA-29)
		Cー蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2																(SA-30)
		主蒸気系統																				
		Aー蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2																(SA-31)
		Bー蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2																(SA-32)
		Cー蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2																(SA-33)
		補助給水系統																				
C7.30 C7.70	C-H	タービン動補助給水ポンプ蒸気ライン	VT-2	8	8	VT-2																(SA-34)
		タービン動補助給水ポンプ・燃料取器用水タンク補給用移送ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																(SA-35)
		タービン動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2																(SA-36)
		電動補助給水ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																(SA-37)
		電動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2																(SA-38)
C7.30 C7.70	C-H	補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	8.6	8.6	VT-2																(SA-39)
		2次系補助給水系統																				
C7.30 C7.70	C-H	復水タンク給水ライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2																(SA-41)

※1: NRA文書「発電用原子炉設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1
 ※2: NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接手続の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる答申」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23検査サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MAI-2008※1		高圧発電所第4号機械検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)					
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
		原子炉補機冷却海水系統															
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(海水ストレナー入口)	VT-2	0.7	0.7	VT-2											
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(A原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	1.2	1.2	VT-2											
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2											
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2											
C7.30 C7.70	C-H	A,B原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2											
		C,D原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2											

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす電線その他の欠陥の探査」(令和元年6月5日原子力技術第1906051号)の改正版(以下、電線探査NRA文書改正という。)の施行及び公開適合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験履歴等)新印刷要件に関する事業者意見の取りかかるとの適合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第29回安全サイクルより維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(原子炉格納容器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉格納容器(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考						
							2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年							
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締め付け部	VT-4	25%	72	VT-4	25% 18	第20保全サイクル	第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破損その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解析NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格JSMESNA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)				
			検査方法	検査圧力 MPa	SA使用時圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		2021年	2022年	2023年	2024年
		漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法														
		原子炉補機冷却水系統															
D2.30	D-B	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ出入ロライン	VT-2	0.33	0.33	VT-2											(SA3-1)
D2.10	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧用窒素ポンベ	VT-2	14.7	14.7	VT-2											(SA3-2)
D2.30	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧用窒素供給ライン	VT-2	17.16	17.16	VT-2											(SA3-3)
D2.30	D-B	A-ガスサンブル冷却水屋外排水ライン	VT-2	水張り	大気圧	VT-2											(SA3-4)
		制御用空気系統															
D2.10	D-B	A-ニコラスタンバ作動用窒素ポンベ	VT-2	14.7	14.7	VT-2											(SA3-5)
D2.30	D-B	A-ニコラスタンバ作動用窒素供給ライン	VT-2	0.83	0.83	VT-2											(SA3-6)
		試料採取系統															
D2.30	D-B	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置及び可搬型格納容器水素濃度計測装置供給ライン	VT-2	0.5	0.5	VT-2											(SA3-7)

※1: NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす原因の監視」(令和元年6月5日原規特発第1006051号)の改正版(以下、亀裂監視NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年6月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23健全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
 1.クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2							○				T250-5-33
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2							○				T250-5-34
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2								○			T250-5-35
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2							○				T250-5-37
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-5-38
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-5-40
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-10
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-11
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-12
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-14
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-21
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-22
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-23
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-24
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-25
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-26
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-45
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-10-46
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2									○		T250-10-47
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2									○		T250-10-48
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2									○		T250-10-49
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2									○		T250-10-50
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2									○		T250-10-51
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2									○		T250-10-52
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-50-1
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2										○	T250-50-2
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2							○				T250-50-3
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2							○				T250-50-4
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2							○				T250-50-5
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2							○				T250-50-6
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2							○				T250-50-7
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2							○				T250-50-8

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高圧発電所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)										備 考 (漏えい区分)	
							2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2												T250-50-9
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2												T250-50-26
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2												T250-50-27
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2												T250-50-30
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2												T250-50-31
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2												T250-50-32
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2												T250-50-37
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2												T250-50-39
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2												T250-50-40
D2.30	D-B	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース	VT-2	1.2	1.2	VT-2												T250-50-41

※1：MRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす電線その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電線検察MRA文書改正という。)の発行及び公開台帳「(原子炉圧力容器の溶接接手の点検履歴等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる台帳」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、電線検察MRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-1
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-2
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-3
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-10
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-11
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2								○			P-12
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2								○			P-21
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2								○			P-22
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2								○			P-23
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2								○			P-24
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-25
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-26
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-27
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-28
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-68
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-69
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-13
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-30
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-31
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-32
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-33
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-34
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-35
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-37
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-38
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-39
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.33	1.33	VT-2											P-54
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-63
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-70
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.33	1.33	VT-2											P-75
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-112
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-113
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-114
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2											P-115

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
 1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008 ※1		高圧発電所 第4号 機械検査計画 (10カ年)										備考 (漏えい区分)									
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年					
							第20号保安 サイクル				第21号保安 サイクル		第22号保安 サイクル		第23号保安 サイクル		第24号保安 サイクル		第25号保安 サイクル		
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-116				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-117				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-118				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-119				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-120				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-121				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-122				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-123				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.33	1.33	VT-2										○	P-124				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.33	1.33	VT-2										○	P-125				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.33	1.33	VT-2										○	P-126				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.33	1.33	VT-2										○	P-127				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-137				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-138				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-139				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-140				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-141				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-142				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-143				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-144				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-145				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-146				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-147				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-148				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-149				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-150				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-151				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-152				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-153				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-154				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-155				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-156				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-157				
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	P-158				

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10カ年)										備 考 (漏えい区分)																	
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年				
							第20保全 サイクル		第21保全 サイクル		第22保全 サイクル		第23保全 サイクル		第24保全 サイクル		第25保全 サイクル		第26保全 サイクル		第27保全 サイクル		第28保全 サイクル		第29保全 サイクル		第30保全 サイクル		第31保全 サイクル
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2																						P-159	
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2																							P-160
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2																							P-184
D2.30	D-B	消防ポンプ	VT-2	1.4	1.4	VT-2																							P-185
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-1 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-2 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-3 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-10 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-11 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-12 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-21 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-22 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-23 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-24 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-25 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-26 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-27 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-28 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-68 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-69 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-13 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-30 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-31 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-32 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-33 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-34 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-35 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-37 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-38 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-39 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-54 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-63 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-70 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																							P-75 ※当該設備の燃料油にて実施。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高圧発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)	
							2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-112 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-113 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-114 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-115 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-116 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-117 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-118 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-119 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-120 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-121 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-122 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-123 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-124 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-125 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-126 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-127 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-137 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-138 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-139 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-140 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-141 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-142 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-143 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-144 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-145 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-146 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-147 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-148 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-149 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-150 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-151 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-152 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-153 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												P-154 ※当該設備の燃料油にて実施。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル					
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											P-155 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											P-156 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											P-157 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											P-158 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											P-159 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											P-160 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											P-164 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.10	D-B	消防ポンプ燃料タンク	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											P-165 ※当該設備の燃料油にて実施。
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-114
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-115
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-116
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-117
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-118
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-119
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-120
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-121
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-122
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-123
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-124
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											S-125
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用10mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1452
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1453
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1454
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1455
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1456
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1457
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1458
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1459
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1460
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1461
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1462
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1463
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1464
D2.30	D-B	消防ポンプ吸水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1465

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008 ※1			高圧発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)															
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年			
							第20保安 サイクル		第21保安 サイクル		第22保安 サイクル		第23保安 サイクル		第24保安 サイクル		第25保安 サイクル		第26保安 サイクル		第27保安 サイクル		第28保安 サイクル		第29保安 サイクル		第30保安 サイクル	
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1466
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1467
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1468
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1469
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1470
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1471
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1472
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1473
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1474
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1475
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1476
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1477
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1478
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1479
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1480
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1481
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1482
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1483
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1484
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1485
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1486
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1487
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1488
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1489
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1490
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1491
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1492
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1493
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1494
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1495
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1496
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1497
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1498
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2																						H65-1499

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1.クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10カ年)										備 考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル					
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1500
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1501
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1502
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1503
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1504
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1505
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1506
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1507
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1508
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1510
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1511
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1512
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1514
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1515
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1516
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1517
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1518
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1519
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1520
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1521
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1522
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1523
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1524
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1525
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1526
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1527
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1528
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1529
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1530
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1531
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1532
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1533
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1534
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1535

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年 第20保全 サイクル	2017年	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル		2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1536
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1537
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1538
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1539
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1540
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1541
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1542
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1543
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1544
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1545
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1546
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1547
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1548
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1549
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1550
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1551
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1552
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1553
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1554
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1555
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1558
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1559
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1560
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1561
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1562
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1563
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1564
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1565
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1566
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1567
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1568
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1569
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1570
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1571

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年 第20保全 サイクル	2017年	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル		2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1572
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1573
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1574
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1575
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1576
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1577
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1578
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1579
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1580
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1581
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1582
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1583
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1584
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1585
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1586
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1587
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1588
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1589
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1590
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1591
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1592
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1593
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1594
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1595
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1596
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1597
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1598
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1599
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1600
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1601
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1602
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1603
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1604
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1605

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
 1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10カ年)										備 考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
							第20保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル					
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1606
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1607
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1608
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1609
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1610
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1611
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1612
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1613
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1614
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1615
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1616
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1617
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1618
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1619
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1620
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1621
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1622
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1623
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1624
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1625
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1626
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1627
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1628
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1629
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1630
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1631
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1632
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1633
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1634
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1635
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1636
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1637
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1638
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2								○			H65-1639

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年 第20保全 サイクル	2017年 第21保全 サイクル	2018年 第22保全 サイクル	2019年 第23保全 サイクル		2020年 第24保全 サイクル	2021年 第25保全 サイクル	2022年 第26保全 サイクル	2023年	2024年
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1640
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1641
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1642
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1643
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1644
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1645
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1646
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1647
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1648
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1649
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1650
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1651
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1652
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1653
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1654
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1655
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1656
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1657
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1658
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1659
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1660
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1661
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1662
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1663
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1664
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1665
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1666
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1667
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1668
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1669
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1670
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1671
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1672
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1673

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年 第20保全 サイクル	2017年	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル		2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1674
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1675
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1676
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1677
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1678
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1679
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1680
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1681
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1682
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1683
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1684
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1685
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1686
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1687
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1688
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1689
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1690
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1691
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1692
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1693
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1694
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1695
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1696
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1697
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1698
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1699
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1700
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1701
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1702
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1703
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1704
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1705
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1706
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1707

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年 第20保全 サイクル	2017年	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル		2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1708
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1709
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1710
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1711
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1712
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1713
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1714
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1715
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1716
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1717
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1718
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1719
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1720
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1721
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1722
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1723
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1724
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1725
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1726
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1727
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1728
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1729
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1730
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1731
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1732
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1733
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1734
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1735
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1736
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1737
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1738
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1739
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1740
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1741

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年 第20保全 サイクル	2017年	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル		2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1742
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1743
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1744
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1745
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1746
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1747
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1748
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1749
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1750
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1751
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1752
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1753
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1754
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1755
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1756
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1757
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1758
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1759
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1760
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1761
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1762
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1763
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1764
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1765
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1766
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1767
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1768
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1769
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1770
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1771
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1772
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1773
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1774
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1775

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
 1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル					
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1776
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1777
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1778
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1779
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1780
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1781
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1782
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1783
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1784
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1785
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1786
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1787
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1788
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1789
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1790
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1791
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1792
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1793
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1794
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1795
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1796
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1797
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1798
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1799
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1800
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1801
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1802
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1803
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1804
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1805
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1806
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1807
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1808
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1809

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年 第20保全 サイクル	2017年	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル		2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1810
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1811
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1812
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1813
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1814
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1815
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1816
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1817
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1818
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1819
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1820
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1821
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1822
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1823
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1824
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1825
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1826
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1827
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1828
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1829
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1830
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1831
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1832
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1833
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1834
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1835
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1836
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1837
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1838
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1839
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1840
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1841
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1842
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1843

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1.クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル					
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1844
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1845
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1846
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1847
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1848
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1849
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1850
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1851
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1852
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1853
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1854
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1855
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1856
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1857
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1858
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1859
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1860
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1861
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1862
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1863
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1864
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1865
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1866
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1867
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1868
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1869
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1870
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1871
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1872
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1873
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1874
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1875
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1876
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1877

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
 1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S M1-2008 ※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年 第20保全 サイクル	2017年	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル		2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1878
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1879
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1880
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1881
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1882
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1883
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1884
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1885
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1886
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1887
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1888
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1889
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1890
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1891
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1892
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1893
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1894
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1895
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1896
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1897
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1898
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1899
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1900
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1901
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1902
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1903
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1904
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1905
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1906
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1907
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1908
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1909
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1910
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	1.55	VT-2											H65-1911

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

検査項目		高圧発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	検査方法													
				2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年				
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55	第20保全 サイクル		第21保全 サイクル		第22保全 サイクル		第23保全 サイクル		第24保全 サイクル		第25保全 サイクル		H65-1912
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1913
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1914
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1915
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1916
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1917
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1918
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1919
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1920
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1921
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1922
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1923
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1924
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1925
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1926
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1927
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1928
D2.30	D-B	消防ポンプ送水用20mホース	VT-2	1.55													H65-1929

※1: NRA文書「重圧発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原簿技術審1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の発行及び公開(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2: NRA文書「重圧発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原簿技術審1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の発行及び公開(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

項目番号		カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第4号機検査計画(10年間)										備考 (漏えい区分)
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
								第20号保安 サイクル	第21号保安 サイクル	第22号保安 サイクル	第23号保安 サイクル	第24号保安 サイクル	第25号保安 サイクル	第26号保安 サイクル	第27号保安 サイクル	第28号保安 サイクル	第29号保安 サイクル	
D2.30	D-B	4A可搬式代替低圧注水ポンプ		VT-2	1.55	1.55	VT-2											
D2.30	D-B	4A可搬式代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口管		VT-2	1.55	1.55	VT-2											
D2.30	D-B	4A可搬式代替低圧注水ポンプ取水用3mホース		VT-2	大気圧	水張り	VT-2											
D2.30	D-B	4B可搬式代替低圧注水ポンプ		VT-2	1.55	1.55	VT-2											
D2.30	D-B	4B可搬式代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口管		VT-2	1.55	1.55	VT-2											
D2.30	D-B	4B可搬式代替低圧注水ポンプ取水用3mホース		VT-2	大気圧	水張り	VT-2											
D2.10	D-B	4A仮設組立式水槽		VT-2	大気圧	水張り	VT-2											
D2.10	D-B	4B仮設組立式水槽		VT-2	大気圧	水張り	VT-2											
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-6
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-7
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-8
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-9
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-10
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-11
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-12
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-13
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-19
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-20
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-21
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-22
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-23
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-24
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-25
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用10mホース(フレンジ継手付、フレンジ継手なし)		VT-2	1.55	1.55	VT-2											T-100-10-26

※1: NRA文庫「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす機器その他の施設の検査」(令和元年6月5日厚相技発第1908051号)の改正版(以下、亀裂検知NRA文庫改正という。)の発行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験検査等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかゝる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、亀裂検知NRA文庫改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 (2008年版) JSME S MAI-2008		高浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考 (漏えい区分)				
項目 番号	カテゴリ	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		2021年	2022年	2023年	2024年
		漏えい検査範囲 ライン名等														
		非常用電源														
D2.10	D-B	燃料タンク(4A電源車)	大気圧	水張り	VT-2							-	○	-		
D2.10	D-B	燃料タンク(4B電源車)	大気圧	水張り	VT-2							-	○	-		
D2.10	D-B	燃料タンク(4A電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	大気圧	水張り	VT-2							-	○	-		
D2.10	D-B	燃料タンク(4B電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	大気圧	水張り	VT-2							-	○	-		

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	検査内容		高浜発電所第4号機 検査計画(10分年)										備考 (漏えい区分)		
				SA使用時の 圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024			
		制御用空気系統																
D2.10	D-B	4窒素ポンプ(加圧器逃がし弁作動用)(A系用)	VT-2	14.7	14.7													(SA3-1)
D2.10	D-B	4窒素ポンプ(加圧器逃がし弁作動用)(A系用予備)	VT-2	14.7	14.7													(SA3-2)
D2.10	D-B	4窒素ポンプ(加圧器逃がし弁作動用)(B系用)	VT-2	14.7	14.7													(SA3-3)
D2.10	D-B	4窒素ポンプ(加圧器逃がし弁作動用)(B系用予備)	VT-2	14.7	14.7													(SA3-4)
D2.30	D-B	4加圧器逃がし弁A系用窒素マニホールド	VT-2	17.16	17.16													(SA3-5)
				0.98	0.98													(SA3-6)
D2.30	D-B	4加圧器逃がし弁B系用窒素マニホールド	VT-2	17.16	17.16													(SA3-7)
				0.98	0.98													(SA3-8)
D2.30	D-B	4加圧器逃がし弁A系用窒素マニホールド(予備)	VT-2	17.16	17.16													(SA3-9)
				0.98	0.98													(SA3-10)
D2.30	D-B	4加圧器逃がし弁B系用窒素マニホールド(予備)	VT-2	17.16	17.16													(SA3-11)
				0.98	0.98													(SA3-12)
D2.30	D-B	4加圧器逃がし弁制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(A系用30m)	VT-2	0.98	0.98													(SA3-13)
D2.30	D-B	4加圧器逃がし弁制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(B系用8m)	VT-2	0.98	0.98													(SA3-14)
D2.30	D-B	4加圧器逃がし弁制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(30m予備)	VT-2	0.98	0.98													(SA3-15)
D2.30	D-B	4加圧器逃がし弁制御用空気ライン窒素供給用 20m、18m、12mホース(A系用12m)	VT-2	0.98	0.98													(SA3-16)
D2.30	D-B	4加圧器逃がし弁制御用空気ライン窒素供給用 20m、18m、12mホース(B系用18m)	VT-2	0.98	0.98													(SA3-17)
D2.30	D-B	4加圧器逃がし弁制御用空気ライン窒素供給用 20m、18m、12mホース(20m予備)	VT-2	0.98	0.98													(SA3-18)

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出NRA文書改正という。)」の施行及び公開(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる委員会(令和元年6月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、亀裂検出NRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格「JSME S NA1-2012/2013/2014」を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画 (原子燃料課所掌分)

1. クラス3機器漏えい検査 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME)			高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)										備考 (漏えい区分)				
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		2021年	2022年	2023年	2024年
		SFPスプレイ系統															
D2.30	D-B	スプレイヘッド (A)	VT-2	1.4	1.4	VT-2							-				○ SA3-1
D2.30	D-B	スプレイヘッド (B)	VT-2	1.4	1.4	VT-2							-				○ SA3-2
D2.30	D-B	スプレイヘッド (1~4u共用予備)	VT-2	1.4	1.4	VT-2							-				○ SA3-3

別図

定期事業者検査時の安全管理の計画

高浜発電所4号機 第23回定期事業者検査時の安全管理の計画 1/31

主要工程		RCS水位																						
		Y別列	RCS降温	R/V開放	1次系ポンプ他点検	R/V組立	RCS補油検査	燃料取出			燃料装荷			起動記録			起動前点検							
		モニタリング機 RCS 濁水 ミッドループ RCS 全フロー																						
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モ-ト外	6-1	6-2	5-1	5-2	6-1	6-2	4	5-1	4	5-1	3		
未起昇降機能	第20条 停止余裕	モード3, 4	*停止余裕: 1.8% Δ/A 以上	-	X	X													X	X	X			
	第22条 減速材温度係数	モード3	*停止余裕: 1.0% Δ/A 以上 *減速材温度係数: $-78 \times 10^3 \Delta/A/^\circ C$ 以上	-	X	X	X													X	X			
	第55条 ほう酸注入タンク	モード3	*ほう酸注入タンクほう酸濃度: 2100ppm 以上 *ほう酸注入タンクほう酸水量(有効水量): 3.4m ³ 以上 *ほう酸注入タンクほう酸水温度: 65°C 以上	*ほう酸注入タンク	X	X	X														X	X		
	第81条 1次冷却材中のほう酸濃度	モード6	*1次冷却材中のほう酸濃度: 280ppm 以上	-					X	X														
	第50条 1次冷却材中のほう酸濃度	モード3 (1次冷却材中のほう酸濃度が 280°C 以上)		*1次冷却材中のほう酸濃度: $6.2 \times 10^3 \Delta/cm^3$ 以下	-	Δ	Δ																	Δ
	放射性物質の閉じ込め機能: 放射線の遮へい及び放出低減機能	第56条 原子炉格納容器	モード3, 4	(1) 原子炉格納容器の機能が健全であること (2) 原子炉格納容器圧力: 38kPa (表) 以下 (3) 原子炉格納容器エアロックが動作可能(原子炉格納容器エアロックのインターロック機構が健全であること、および原子炉格納容器エアロックが閉止可能(閉止状態であることを含む)であること、モード4の原子炉格納容器エアロックの両方のドアを開放する場合、適用しない。) (4) 原子炉格納容器隔離弁が動作可能(閉止可能(閉止状態であることを含む)) *原子炉格納容器真空度がし、系2系統動作可能(真空度がし機能が確保されていること)	*原子炉格納容器 *原子炉格納容器エアロック *原子炉格納容器隔離弁	X	Δ												X	Δ	X	X		
第57条 原子炉格納容器真空度がし系	モード3, 4		*原子炉格納容器真空度がし系2系統動作可能(真空度がし機能が確保されていること)	*原子炉格納容器真空度がし弁	X	X												X	X	X	X			
第58条 原子炉格納容器スプレイ系	モード3, 4		(1) 原子炉格納容器スプレイ系: 2系統動作可能 (2) よう素除去薬品タンクの苛性ソーダ濃度および苛性ソーダ溶液量 *苛性ソーダ濃度: 30wt% 以上 *苛性ソーダ溶液量(有効水量): 11.7m ³ 以上 原子炉格納容器スプレイ系が動作不能時は、第85条(表85-4および表85-6)の運転上の制限を確認。 *アニュラス空気浄化系: 2系統動作可能(アニュラス空気浄化系動作不能時は、第85条(表85-11)の運転上の制限も確認)	*原子炉格納容器スプレイ系 *よう素除去薬品タンク	X	X												X	X	X	X			
第59条 アニュラス空気浄化系	モード3, 4		*アニュラス空気浄化系: 2系統動作可能(アニュラス空気浄化系動作不能時は、第85条(表85-11)の運転上の制限も確認)	*アニュラス空気浄化系	X	X												X	X	X	X			
第60条 アニュラス	モード3, 4		*アニュラスの機能が健全であること(アニュラス内点検、原子炉格納容器エアロック点検、原子炉格納容器内点検等を行う場合、適用しない)	*アニュラス	Δ	Δ												Δ	Δ	Δ	Δ			

高浜発電所4号機 第23回定期事業者検査時の安全管理の計画

2/31

主要工程			▽解体	RCS降温	燃料取出	燃料装荷	起動試験	起動前点検	起動前点検																																
主要工程			燃料取出	燃料装荷	R/V組立	R/V組立	RCS潤滑検査	▽並列	調整運転																																
RCS 水位																																									
キャビティ赤水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全ブロー																																									
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	5-1	4	5-1	4	5-1	3																					
放射線物質放出の防止機能	第71条 安全補機室空気浄化系	モード3、4	*安全補機室空気浄化系: 2系統動作可能	×	×																×																				
	第34条(第34-8) 燃料落下および燃料建屋型空気浄化系計装	使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	*燃料建屋空気浄化系(動機制御回路)2系統 *手動起動: 1チャンネル *燃料落下検知: 2チャンネル (照射終了後、所定の期間を経過した照射済燃料を取り扱う場合は除外) *燃料取込建屋空気浄化系: 2系統動作可能(照射終了後の所定期間を経過した照射済燃料を取り扱う場合は適用しない) *原子炉キャビティ水位: EL3.14m以上(原子炉格納容器内での燃料移動中以外の期間において、計画的な原子炉キャビティ水位きによりモード6(低水位)に移行する場合、運転上の制限を適用しない)					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△																					
原子炉停止後の除熱機能	第72条 燃料取込建屋空気浄化系	使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	*燃料取込建屋空気浄化系: 2系統動作可能(照射終了後の所定期間を経過した照射済燃料を取り扱う場合は適用しない)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△																					
	第82条 原子炉キャビティ水位	モード6(キャビティ高水位)	*原子炉キャビティ水位: EL3.14m以上(原子炉格納容器内での燃料移動中以外の期間において、計画的な原子炉キャビティ水位きによりモード6(低水位)に移行する場合、運転上の制限を適用しない) (1) 機體、ハッチが全閉状態で閉じられていること (原子炉格納容器内で燃料移動を行っている場合、速やかに閉止できることを条件に以下のいずれかを満足する場合は閉止することを許容する。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。 *1 次冷却ポンプ停止中で余熱除去系統による冷却時、加圧器安全弁が健全であることおよび加圧器水位が10~30%である場合 *原子炉キャビティ水位がEL3.14m以上である場合 (2) 各エアロゾルが1つ以上のドアで閉止可能状態であることを含む (3) その他の貴重物のうち、隔離弁については閉止可能であること(閉止状態であることを含む)、隔離弁以外については閉止可能なものによって閉止可能であること(原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は、速やかに閉止できることを条件に閉止することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない)						△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△																					
原子炉停止後の除熱機能	第84条 使用済燃料ピットの水位および水温	全モード	*使用済燃料ピット水位: EL3.14m以上(照射済燃料の移動を行っていない場合は適用しない) *使用済燃料ピット水温: 65℃以下	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△																					
	第37条 1次冷却系	モード3	(1) 制御棒の引抜き操作が行える状態である場合は、蒸気発生器による蒸気発生系統以上の運転 (2) 制御棒の引抜き操作が行えない状態である場合は、蒸気発生器による蒸気発生系統以上の運転が可能であり、そのうち1系統以上の運転中 蒸気発生器による冷却系が動作不能時は、第85条(第85-8)の運転上の制限も確認	×	×																																				

高浜発電所4号機 第23回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		▽解列 RCS降温												燃料送荷		起動試験		起動前弁点検					
RCS 水位		RCS 降温												R^へ組立		RCS通油検査		▽並列 調整運転					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	6-2	5-1	5-2	6-1	6-2	1次系ポンプ他点検	R^へ組立	RCS通油検査	起動試験	起動前弁点検	
第38条 1次冷却系		モード4	<p>要求内容</p> <p>・余熱除去系または蒸気発生器による余熱除去系のうち、2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中</p> <p>余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認</p> <p>蒸気発生器による余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-8)の運転上の制限も確認</p> <p>(1) 余熱除去系1系統が運転中[※]</p> <p>(2) 他の余熱除去系が動作可能または運転中であるか、2基以上の蒸気発生器の水位(領域)が許容スパンの5%以上であること[※]</p> <p>※： 計測時にモード4に加熱する場合は、蒸気発生器1基以上の水位(領域)が許容スパンの5%以上であることを条件に全ての余熱除去系を隔離することを許容</p> <p>余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認</p> <p>余熱除去系2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中</p> <p>・1次冷却ポンプによる1次冷却系空気抜きを行う場合は2時間以内限り全ての余熱除去系を隔離することを許容</p> <p>・ポンプの切替を行う場合は、abcの全てを満足することを条件に15分以内に全ての余熱除去ポンプを停止することを許容</p> <p>a. 炉心出口温度が飽和温度より58℃以上下回るように維持されていること</p> <p>b. 1次冷却系中のほう素濃度が低下する操作が行われていないこと</p> <p>c. 1次冷却系水量低下につながる操作が行われていないこと</p> <p>余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認</p> <p>(1) 余熱除去系1系統以上が運転中(1次冷却材中のほう素濃度を低下させる操作を行わないことを条件に、8時間あたり1時間以内、余熱除去ポンプを停止することを許容)</p> <p>(2) 1次冷却系温度:65℃以下</p> <p>余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認</p> <p>(1) 余熱除去系2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上運転中(キヤビティ水位)張りおよび水抜きを行っている場合は、余</p>																				
第39条 1次冷却系		モード5-1 (1次冷却系非沸水)																					
第40条 1次冷却系		モード5-2 (1次冷却系非沸水)																					
第41条 1次冷却系		モード6-2 (キヤビティ(高水位))																					
第42条 1次冷却系		モード6-1 (キヤビティ(低水位))																					

高浜発電所4号機 第23回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		▽系列 RCS降溫																
		燃料取出			燃料送荷			起動試験			起動前弁点検							
		R/V開放			1次系ポンプ他点検			R/V組立			RCS漏洩検査							
		R/V開放			R/V組立			R/V組立			▽並列 調整運転							
RCS 水位		キャビティ湧水 RCS 湧水 ミッドループ RCS 全ブロー																
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	5-4	5-1	4	3
			熱除去系への切替操作が可能であること、および他の1系 熱が運転中であることを条件に1系送電隔離することを許容 (2) 1次冷却媒体温度 65°C以下															
第61条 主蒸気安全弁		モード3(原子炉起動時のモード3から主蒸気安全弁機能喪失時までを除く)	余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認 ・主蒸気安全弁が蒸気発生器毎に下記の機能以上動作可能 原子炉熱出力25%以下: 2個	x														
第62条 主蒸気隔離弁		モード3	・主蒸気隔離弁が閉止可能(閉止状態にある場合は、適用しない)	△														
第63条 主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水バイパス制御弁		モード3	・主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水バイパス制御弁が閉止可能(停止弁とは手動弁で隔離された状態がある場合は、適用しない)	△														
第64条 主蒸気逃げし弁		モード3、4(蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	・主蒸気逃げし弁: 手動での開弁ができること 主蒸気逃げし弁が動作不能時は、第85条(表85-9)の運転上の制限も確認	x	△													
第65条 補助給水系		モード3	・電動補助給水ポンプによる2系統およびタービン動補助給水ポンプによる1系統が動作可能(タービン動補助給水ポンプについては原子炉起動時のモード3において試験運転に係る調整を行っている場合は適用しない)	x														
			補助給水系が動作不能時は、第85条(表85-8)の運転上の制限も確認 ・電動補助給水ポンプによる1系統以上が動作可能															
			補助給水系が動作不能時は、第85条(表85-8)の運転上の制限も確認 ・復水タンク水量(有効水量) 320m ³ 以上		△													
第66条 復水タンク		モード3、4(蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	復水タンク水量(有効水量)を確認する場合は、第85条(表85-14)の運転上の制限も確認	x	△													

高浜発電所4号機 第23回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		▽系列 RCS後置											燃料供給		起動前点検																					
RCS 水位		燃料取出				R／＼開放				R／＼組立				RCS漏洩検査																						
RCS 水位		キャビティ排水 RCS 排水 ミッドループ RCS 全ブロー											燃料供給		起動前点検																					
項目	保安規定条文	要求モード	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モータ外	6-2	6-1	6-2	5-1	5-2	6-1	6-2	5-1	5-2	6-1	6-2	5-1	5-2	4	4	5-1	5-2	4	4	5-1	5-2					
炉心冷却機能	モード3 (1次冷却材圧力が6.8MPa(gauge)時) (原子炉起動時のモード3(1次冷却材圧力が6.8MPa(gauge)を超えた時点)から、全ての出口弁が全開となるまでの間は除く)	モード3 (1次冷却材圧力が6.8MPa(gauge)時) (原子炉起動時のモード3(1次冷却材圧力が6.8MPa(gauge)を超えた時点)から、全ての出口弁が全開となるまでの間は除く)	<ul style="list-style-type: none"> 蓄圧タンクはうろ度: 2800rpm 以上 蓄圧タンクはうろ水量(有効水量): 28.0m³以上 蓄圧タンク圧力: 4.0MPa(gauge)以上 (2) 蓄圧タンク出口弁全開 蓄圧タンクが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認	△																																
第51条 蓄圧タンク		モード3	<ul style="list-style-type: none"> 高圧注入系: 2系統動作可能 低圧注入系: 2系統動作可能 高圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-3および表85-4)の運転上の制限も確認 低圧注入系動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認	×																																
第52条 非常用炉心冷却系		モード4	(1) 高圧注入系または低圧注入系: 1系統以上動作可能 (2) 低圧注入系: 1系統以上動作可能(余熱除去ポンプを用いて余熱除去運転を行っている場合は、低圧注入系への切替操作が可能であることを条件に、動作不能とはみなさない)																																	
第53条 非常用炉心冷却系		モード4	高圧注入系動作不能時は第85条(表85-3および表85-4)、低圧注入系および低圧注入系動作不能時は第85条(表85-4)の運転上の制限も確認	×																																
第54条 燃料取替用水タンク		モード3, 4	<ul style="list-style-type: none"> 燃料取替用水タンクはうろ度: 2800rpm 以上 燃料取替用水タンクはうろ水量(有効水量): 1600m³以上 燃料取替用水タンクが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条(表85-14)の運転上の制限も確認	×																																
原子炉冷却剤圧カバウンダリ機能	通常の1次冷却系の加熱・冷却時(原子炉起動、原子炉停止(異常時を除く)、1次冷却系の高圧・漏えい検査および安全注入系並立弁開えい検査のための昇温、降温操作開始から終了まで)	モード3	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材温度・圧力の制限範囲内 1次冷却材温度変化率(原子炉停炉時): 55°C/h以下 1次冷却材温度変化率(加圧器・加熱器): 65°C/h以下 1次冷却材温度変化率(加圧器・冷却器): 110°C/h以下 (1) 加圧器吐出圧: 許容値の94%以下 (2) 所内非正常用回路から受電している加圧器ヒータ: 2系統動作可能 *加圧器安全弁全てが動作可能 (3個のうち1個は17.16MPa(gauge)以下 他は17.21MPa(gauge)以下)	×																																
第43条 加圧器		モード3	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材温度・圧力の制限範囲内 1次冷却材温度変化率(原子炉停炉時): 55°C/h以下 1次冷却材温度変化率(加圧器・加熱器): 65°C/h以下 1次冷却材温度変化率(加圧器・冷却器): 110°C/h以下 (1) 加圧器吐出圧: 許容値の94%以下 (2) 所内非正常用回路から受電している加圧器ヒータ: 2系統動作可能 *加圧器安全弁全てが動作可能 (3個のうち1個は17.16MPa(gauge)以下 他は17.21MPa(gauge)以下)	×																																
第44条 加圧器安全弁		モード3, 4 (1次冷却材温度130°C超)	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材温度・圧力の制限範囲内 1次冷却材温度変化率(原子炉停炉時): 55°C/h以下 1次冷却材温度変化率(加圧器・加熱器): 65°C/h以下 1次冷却材温度変化率(加圧器・冷却器): 110°C/h以下 (1) 加圧器吐出圧: 許容値の94%以下 (2) 所内非正常用回路から受電している加圧器ヒータ: 2系統動作可能 *加圧器安全弁全てが動作可能 (3個のうち1個は17.16MPa(gauge)以下 他は17.21MPa(gauge)以下)	×																																

高浜発電所 4 号機 第 2・3 回定期事業者検査時の安全管理の計画

6/31

主要工程		燃料送荷												燃料搬出		燃料送荷		燃料搬出		燃料送荷		燃料搬出														
		R／＼開放						R／＼組立						1次系ポンプ他点検		R／＼開放		R／＼組立		RCS漏洩検査		RCS漏洩検査		起動前点検		起動前点検										
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	△ 系列 RCS 検温												△ 系列 RCS 検温		△ 系列 RCS 検温		△ 系列 RCS 検温		△ 系列 RCS 検温		△ 系列 RCS 検温		△ 系列 RCS 検温		△ 系列 RCS 検温								
				キャビティ沸水												キャビティ沸水		キャビティ沸水		キャビティ沸水		キャビティ沸水		キャビティ沸水		キャビティ沸水		キャビティ沸水		キャビティ沸水						
				RCS 沸水												RCS 沸水		RCS 沸水		RCS 沸水		RCS 沸水		RCS 沸水		RCS 沸水		RCS 沸水		RCS 沸水						
ミッドループ												ミッドループ		ミッドループ		ミッドループ		ミッドループ		ミッドループ		ミッドループ		ミッドループ		ミッドループ		ミッドループ								
RCS 全ブロー												RCS 全ブロー		RCS 全ブロー		RCS 全ブロー		RCS 全ブロー		RCS 全ブロー		RCS 全ブロー		RCS 全ブロー		RCS 全ブロー										
第45条	加圧器過し弁	モード3	<ul style="list-style-type: none"> 加圧器過し弁全ての動作可能(動作不確明は、第85条(表85-3)の運転上の制限も確認) 加圧器過し弁元弁全てが動作可能 	3	×																															
第46条	低過加圧防護	モード4 (1次冷却器温度 130°C以下、ただし加圧器過し弁が駆逐設定になるまでの間を除く)、5、6(原子炉容器の重みが得られない場合)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 2台の加圧器過し弁が駆逐設定で動作可能であり、2台の加圧器過し弁元弁が閉状態 または (1) 2 1台以上の加圧器安全弁が取り外されていること および (2) 動作可能な赤てん/高圧注入ポンプ 1 台以下(ポンプの切替を行う場合 15 分に限り、赤てん/高圧注入ポンプを2台運転することを許容) および (3) 蓄圧タンク全基が隔離されていること、蓄圧タンク出口弁の閉確認を行う場合、蓄圧タンク圧力が1次冷却材圧力以下であることを条件に、1 基毎に閉確認を許容) 	△	×	△																														
第47条	1次冷却材注入率	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器サンプ水位計または凝縮液量測定装置によって測定される満たし率のうちの原子炉冷却材圧力(バウンダリからの満たし率)0.23m³/h以下 原子炉格納容器サンプ水位計または凝縮液量測定装置によって測定される満たし率のうちの原子炉冷却材圧力(バウンダリからの満たし率)でないことは確認されているが1次冷却材からの満たし率(原子炉冷却材圧力)以下(原子炉冷却材圧力) 23m³/h以下 原子炉格納容器サンプ水位計が動作可能 	×																																
第48条	蒸気発生器細管漏れ監視	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器細管に漏れがないこと 蒸気発生器細管漏れ監視装置(蒸気発生器ブローダウン水モニタ)が動作可能(プラント状態により監視ができない場合、または洗浄中を除く) 	×																																
第49条	余熱除去系の満たし監視	モード3、4(余熱除去系昇降弁が閉じている場合)	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系から余熱除去系への満たしがないこと、余熱除去系の満たし弁が動作していないこと 	×																																
工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	第34条(表34-2)原子炉保護系計装	モード3、4、5(原子炉トリップしや断線が開閉、制御線の引き抜きが行える場合)	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉保護系計装回路2系統 手動原子炉トリップ; 2チャンネル 中性子源線検出中性子高; 2チャンネル(中間領域中性子高) 2チャンネルに動作可能であることを条件に、P-6リセット時においては、2チャンネルをハイバースとする許容。「中性子源線検出時中中性子高」の警報を設定する場合は、残りのチャンネルが動作可能であることを条件に、2時間以内に、1チャンネルをハイバースをすることを許容。 	△	△	△																														

